

ライフスタイルに関する世論調査報告書

2014年10月調査

2015年3月

独立行政法人 国立環境研究所

前 書 き

本報告書は、独立行政法人 国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画研究室が、環境省研究総合推進費（課題番号[1-1406]「一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究」（2014～2016年度）をうけて実施した、「ライフスタイルに関する世論調査」の結果をまとめたものです。実査は、2014年10月に、(株)サーベイリサーチセンターに委託して実施しました。

本プロジェクトは、2011年3月11日の東日本大震災によって大きく変化したと考えられる日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択などを総合的に把握するために2013年に続き、実施されました。調査のご回答にご協力いただいた皆様には、お忙しいところお時間をいただきました。ありがとうございました。皆様のご回答の結果がこのようにまとまりましたので、ご覧いただければと思います。

2015年3月

独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画室 室長
課題代表者
青柳みどり

目 次

1. はじめに	1
2. 調査のあらまし	3
3. 調査結果	7
4. 回答された方々の属性.....	57
5. 調査票	68

1. はじめに

1. はじめに

本報告書は、独立行政法人 国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画研究室が、環境省研究総合推進費（課題番号[1-1406]「一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究」（2014～2016年度））をうけて実施した、「ライフスタイルに関する世論調査」の結果をまとめたものです。実査は、2014年10月に、(株)サーベイリサーチセンターに委託して実施しました。

本プロジェクトは、2011年3月11日の東日本大震災によって大きく変化したと考えられる日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択などを総合的に把握するために2013年に続き、実施されました。

調査は、日本に住む一般の人々の、東日本大震災後の生活や考え方、意見について、できるだけ定量的に把握することを目的として、実施されました。そのために、統計的な手法を用い、全国の自治体の協力を得て、調査対象の方々を無作為に3,000名選び、その3,000名の方々に、調査協力の依頼をし、専門の調査員がその方々のところに伺ってご意見を伺うという方式で行いました。普段、意見を表明する機会のない方々の意見をあえて伺うということで、戸惑った方々も多くおられたかと思います。この場を借りてお詫び申し上げまするとともに、ご回答をいただいた1,500名を超える方々に、この調査結果を公表してお礼としたいと思います。

本調査の結果を、ご活用いただければ幸いです。

2. 調査のあらまし

2. 調査のあらまし

この調査は、環境省総合研究推進費をうけて独立行政法人国立環境研究所が企画・分析を行ったものである。実査にあたっては、(株)サーベイリサーチセンターに委託して実施した。

(1) 調査目的

気候変動問題と東日本大震災によって起きた放射能汚染のリスクについて、日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択などを総合的に把握するため把握し、今後の環境政策の資料とすることを目的に実施した。

(2) 調査名称

「ライフスタイルに関する世論調査」

(3) 調査設計

- ① 調査対象 日本全国に在住の20歳以上の男女3,000名（1地点20人・150地点）
- ② 抽出方法 層化二段無作為抽出法
〔層化〕

1) 日本全国を、都道府県を単位として次の11地域に分類した。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
東山	山梨県、長野県、岐阜県
東海	静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
北九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州	熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

2) 各地域内において、人口規模に応じて次のように分類した。

- ・政令指定都市
- ・人口 20 万人以上の市
- ・人口 10 万人以上の市
- ・人口 10 万人未満の市
- ・町村

(注) ここでいう市とは、平成 26 年 4 月 1 日現在市制施行の地域を指す。

〔標本数の配分〕

各地域・人口規模の層における 20 歳以上人口（平成 26 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳登録者数）より、150 地点を比例配分し、1 地点あたり 20 標本を設定した。

〔抽出〕

- 1) 調査地点は、平成 22 年度国勢調査時に設定された調査区を基本単位として使用した。
- 2) 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上割当てられた層については、
$$\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
を算出し、等間隔抽出法によって当該番目が含まれる調査区を抽出して抽出の起点とした。
- 3) 地点抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードに従った。
- 4) 調査地点における対象者は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法により抽出した。

(注) 東日本大震災により被災し居住に制限のかかった地域は、調査に含めていない。

- ③ 実施期間 2014 年 10 月 10 日～11 月 4 日
- ④ 調査方法 調査員による個別訪問聴取法

(4) 調査結果

- ① 回収数 (率) 1,548 (51.6%)
- ② 不能数 (率) 1,452 (48.4%)
- ③ 不能内訳 (率)

転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
70 (2.3%)	74 (2.5%)	613 (20.4%)	44 (1.5%)	602 (20.1%)	49 (1.6%)

(5) 調査主体

独立行政法人 国立環境研究所 (環境省総合研究推進費 1-1406 「一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究」による)

(6) 調査実施

株式会社サーベイリサーチセンター

(7) 報告書の見方

本報告書を読む際の留意点を以下に示す。

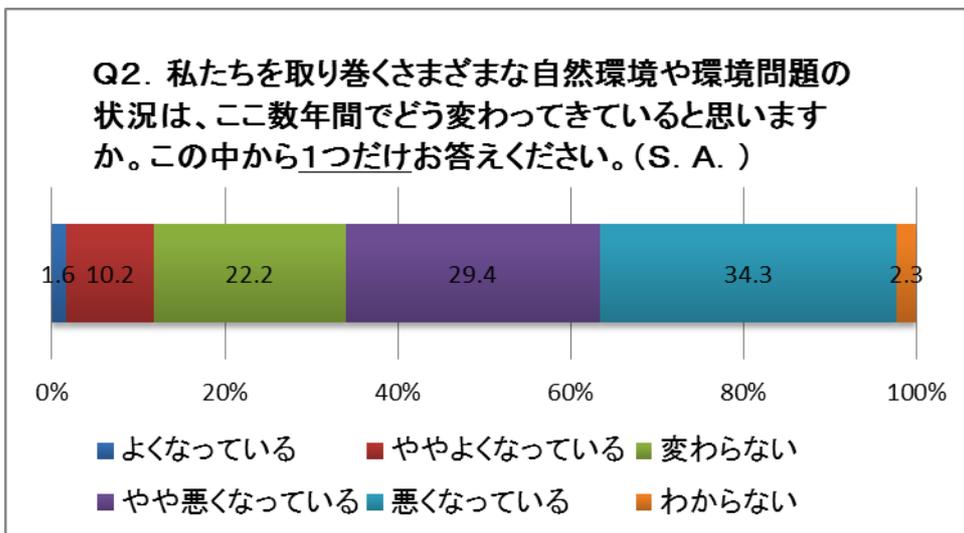
- ① 比率は全て百分率 (パーセンテージ) で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して計算した。このため、百分率 (パーセンテージ) の合計が 100% にならないことがある。
- ② 基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は件数を 100% として計算した。
- ③ 1 人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100% を上回ることがある。
- ④ 図表、本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
- ⑤ 該当がない場合は、図表中で、「0.0」と表記するか、又は省略している。

3. 調查結果

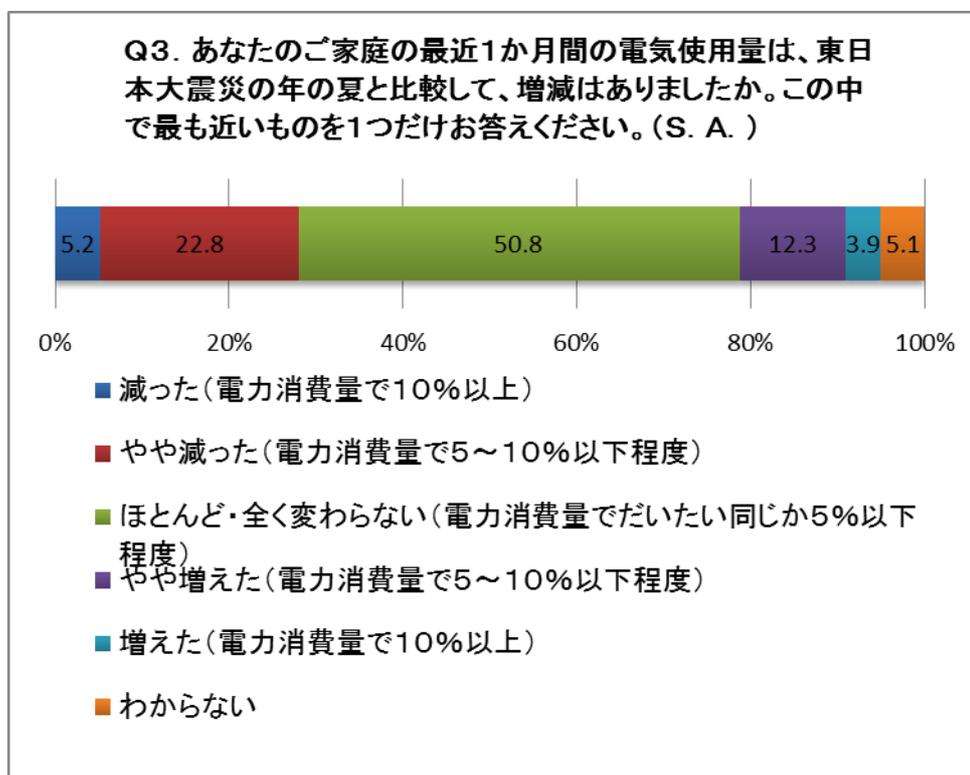
3. 調査結果

(1) 最近の環境の変化について

最近の環境変化について聞いた。「やや悪くなっている」29.4%、「悪くなっている」34.3%と「悪くなっている」との回答が合計で63.7%と多数を占める結果となった。

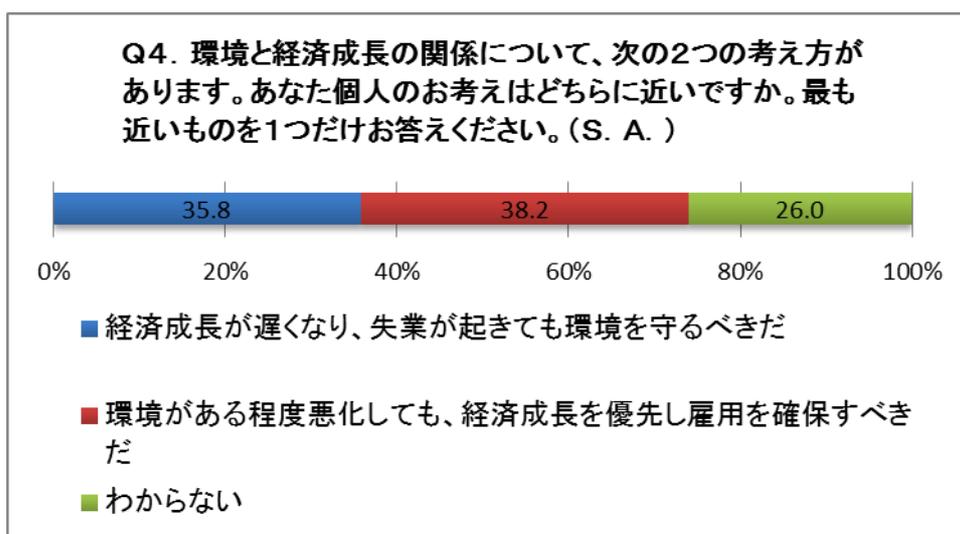


(1) 東日本大震災に起因する省エネ行動について



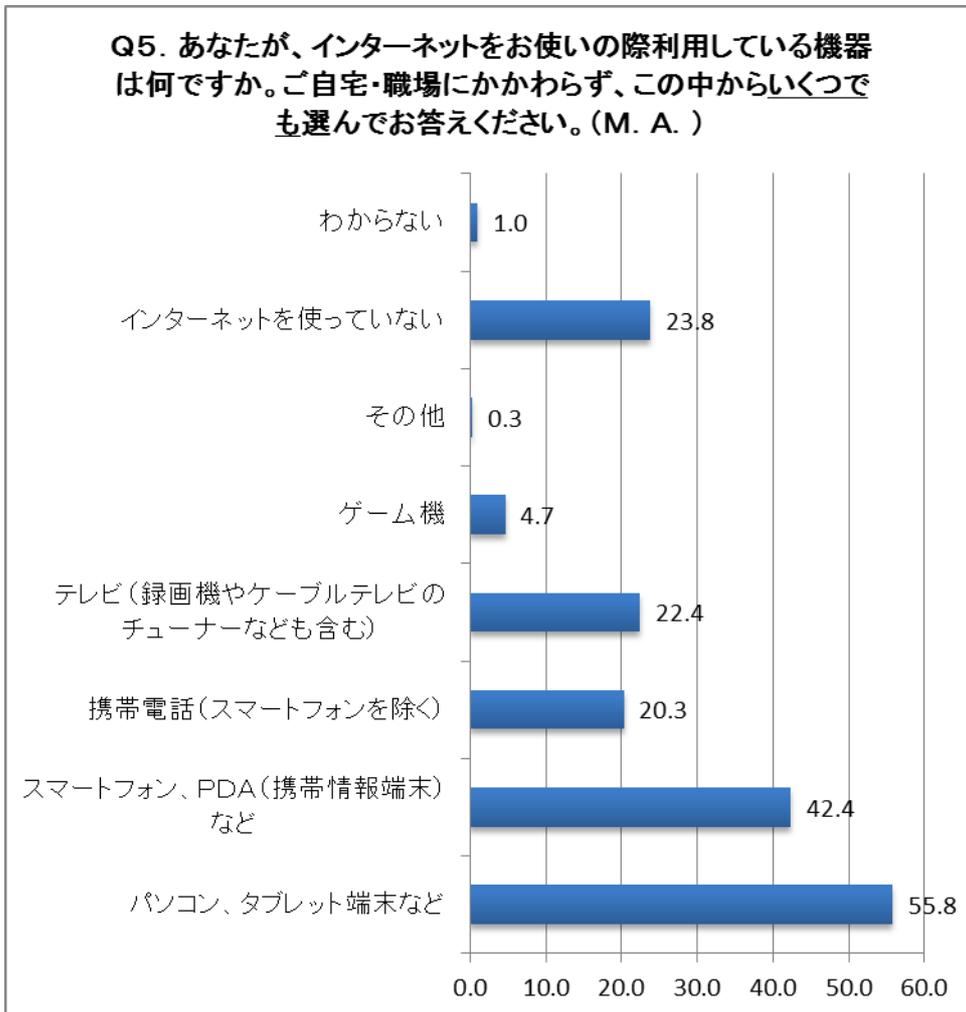
大震災以降、家庭におけるエネルギー、特に電力消費について省エネが励行された。そこで、東日本大震災の年の夏と比較してどの程度増減したかについて聞いた。「減った」「やや減った」をあわせて28%となり、さらなる省エネを継続する家庭が約3割あることがわかる。また「ほとんど変わらない」も50%強存在し、大震災直後の省エネが継続されている様子が伺える。

(2) 環境保全と経済成長



Q4は、これまで各種調査において繰り返し用いられてきた設問である。35.8%が「経済成長よりも環境保全」、38.2%が「環境よりも経済成長と雇用」を選択しており、大きな差はみられなかった。

(3) インターネット使用状況について



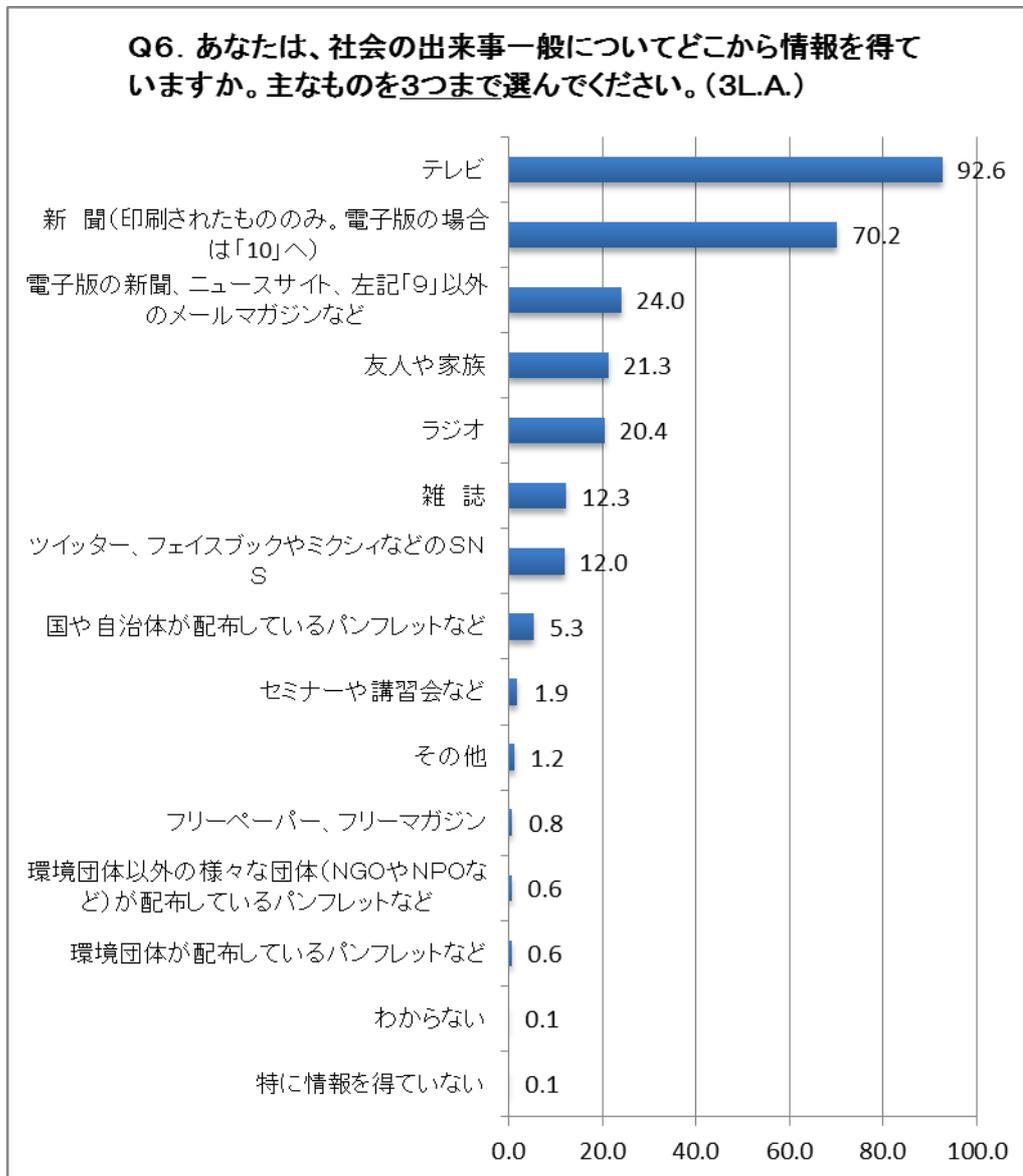
最近では、新聞などはほとんど各社無料でウェブサイトを読むことができ、テレビニュースなども、ウェブサイトと連動している場合も多い。また各通信社も、無料でウェブ上でニュースを提供している。これらの情報をさらにまとめて提供しているサイトなどもある。各種調査において、使用状況が拡大しているインターネットについて、回答者の使用状況を把握するひとつとして機器について聞いた。

Q5は、「複数回答」であり、1名の回答者が複数の回答をしている。軸の100%は、各選択肢の数字は、回答者数(1,548)に対する割合を示す。

パソコン・タブレット端末などをインターネットへのアクセスに使っているのは全回答者の55.8%であり、次に多いのが、42.4%の「携帯電話(スマートフォンを除く)」である。「インターネットを使っていない」は、23.8%の回答者であった。

(4) 環境問題とその情報源について

次は環境問題を含む社会の出来事一般についての情報源について聞いた（Q6）。



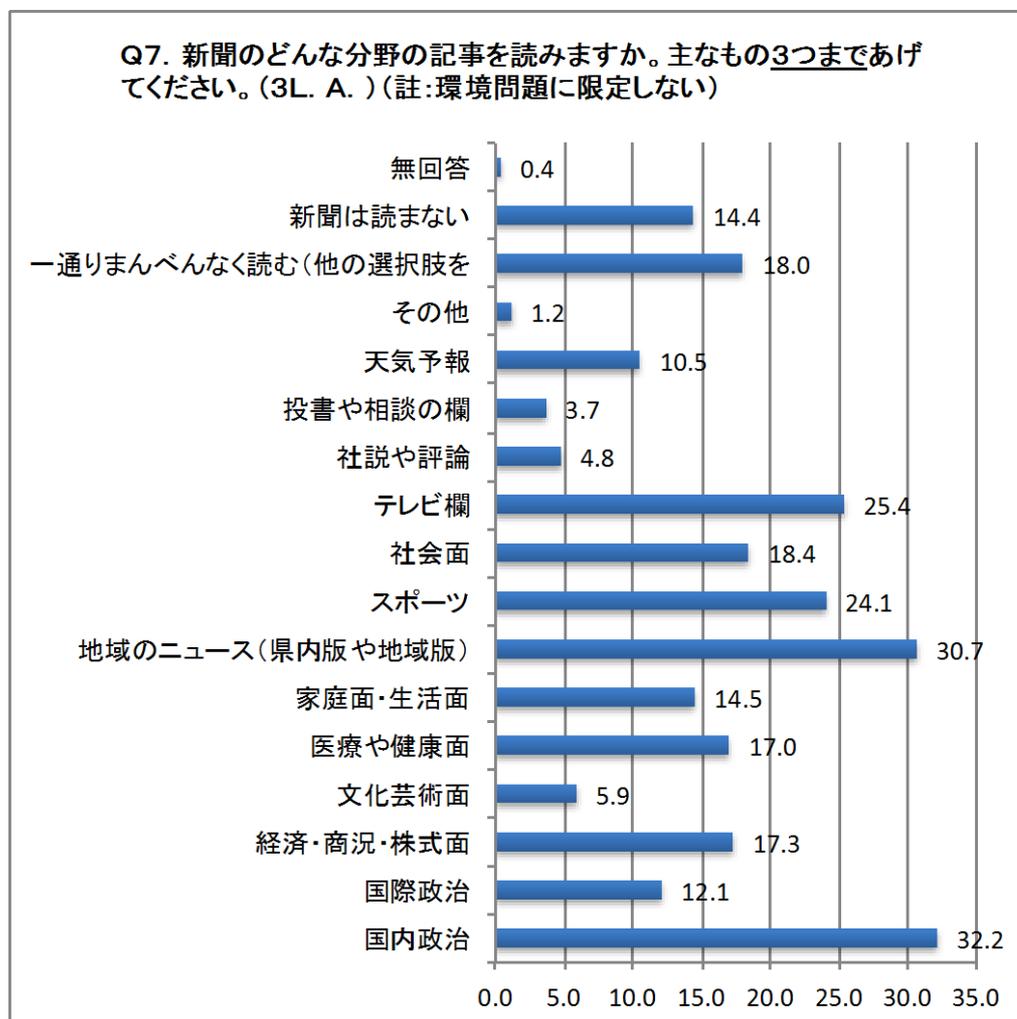
最も多いのが、回答者の92.6%以上が選んだテレビであり、70.2%の新聞紙（印刷されたもの）、24.0%電子版の新聞やニュースサイト、21.3%の友人や家族、20.4%のラジオ、12.3%の雑誌とつづき、12.0%がツイッター、フェイスブック、ミクシーなどのSNSと回答した。インターネット関連は、2013年の調査に比べ伸びている様子が伺える。

(5) 情報の志向について

過去の研究から、人々のリスクに関する知識は、情報源とともに、どのようなジャンルに接しているかに関係していることがわかっている。そのため、普段、どんな分野の記事や番

組に接しているかを聞いた。

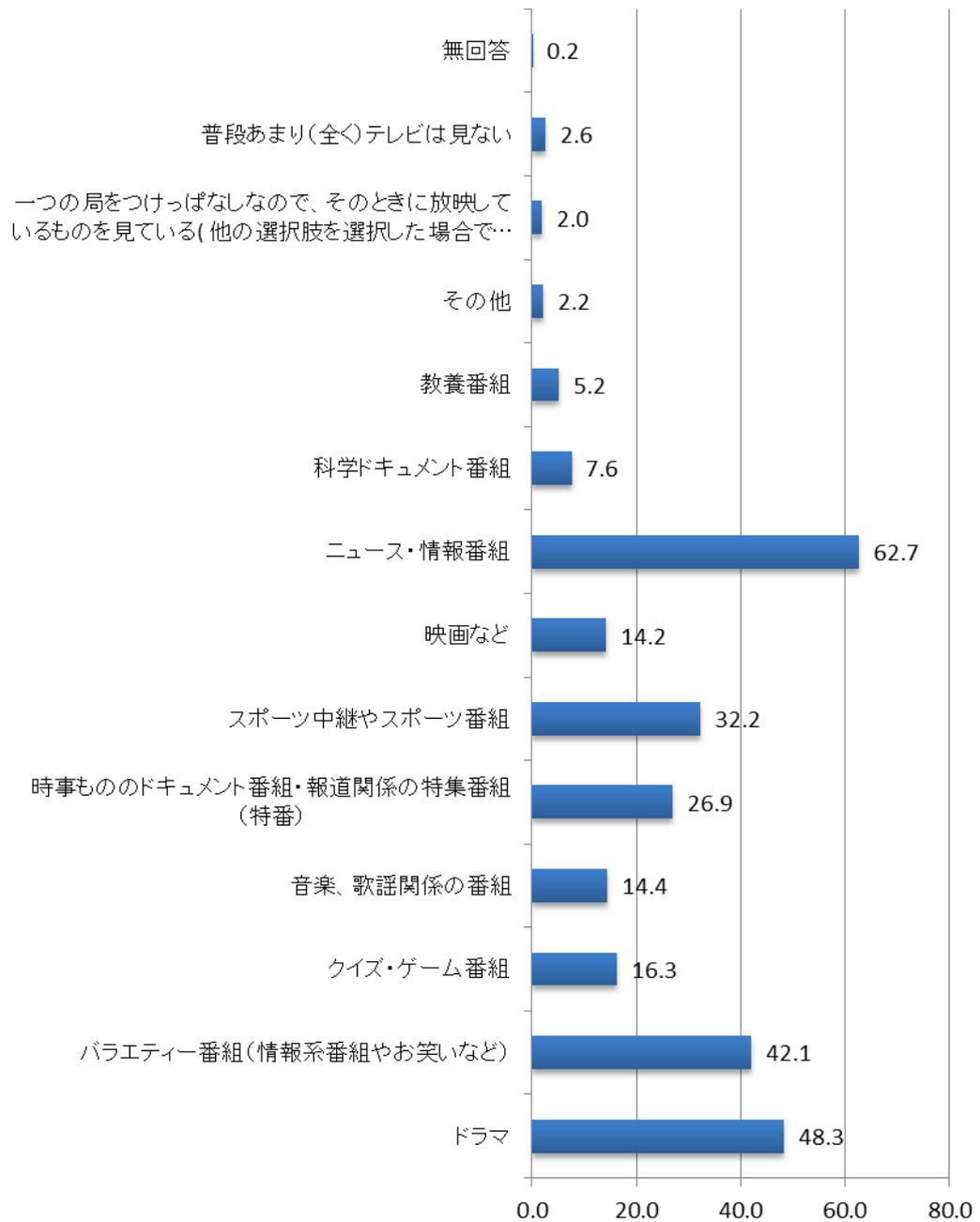
Q7は、新聞について聞いたものである。32.2%が国内政治、つづいて30.7%が地域のニ



ュースと鬼頭している。25.4%がテレビ欄、24.1%がスポーツ、18.4%が社会面、18%が一通りまんべんなく読むと回答している。

Q8は、テレビについてみたものである。62.7%がニュース・情報番組、48.3%がドラマ、42.1%がバラエティー番組と回答している。スポーツ中継やスポーツ番組がそれに続く。科学ドキュメント番組は7.6%、時事もののドキュメント番組・報道関係の特集は26.9%である。

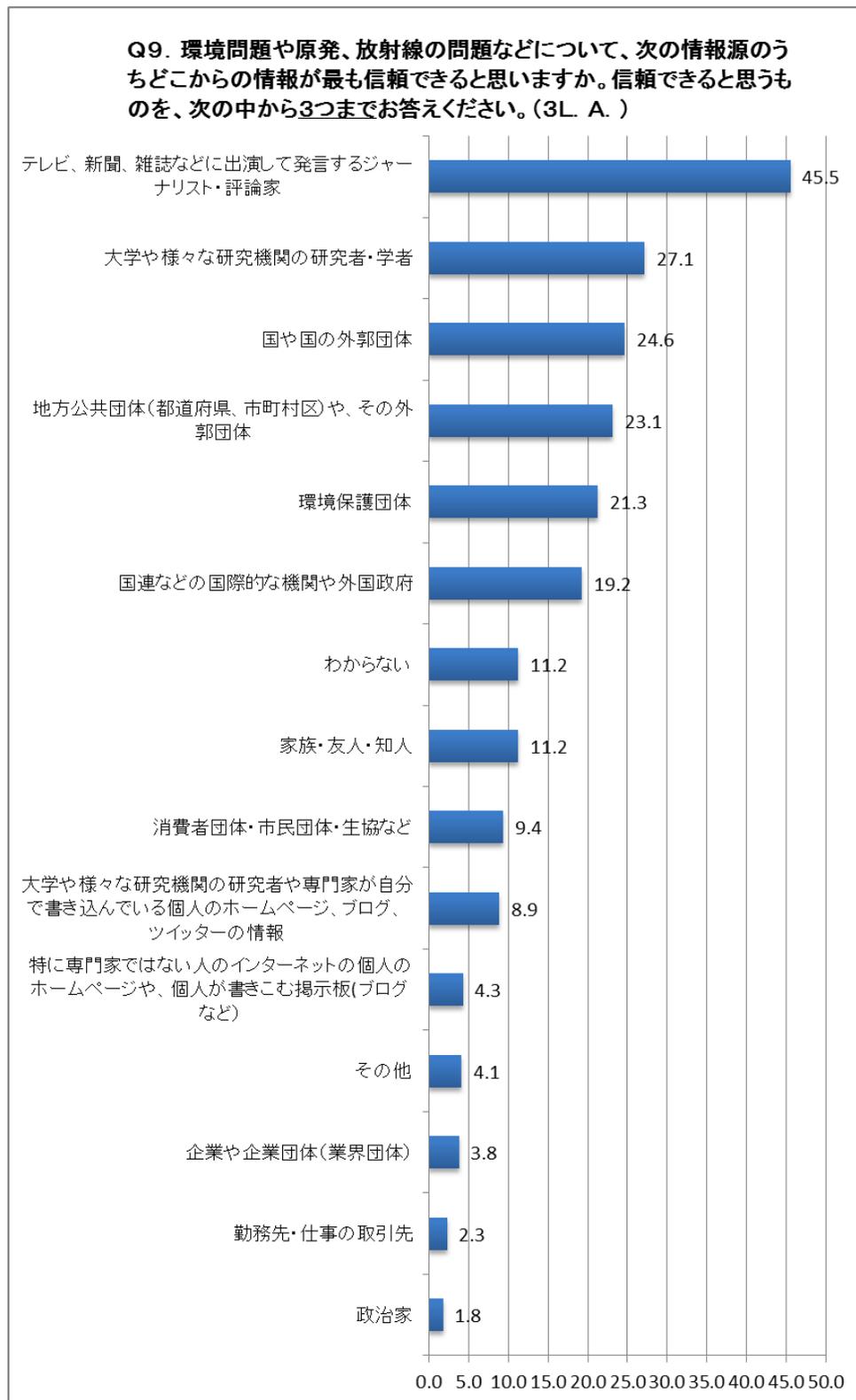
Q8. あなたは普段、どのようなテレビ番組を見ていますか。主なものを3つまであげてください。(3L. A.) (注:環境問題に限定しない)



(6) 信頼できる情報源について

東日本大震災が起きた 2011 年 3 月 11 日以降、しばらくはテレビ番組も新聞もすべて東日本大震災関連のニュースばかりとなった。その中で、新しくつかわれるようになったインターネット経由の情報手段である様々な SNS (Facebook や twitter など) が大きな注目を浴びた。しかしながら、その情報の中には、いわゆる「デマ」に分類されるものなど様々な情

報が含まれていたという問題もあった。



Q9が回答の結果であるが、最も選択されたのが「テレビ、新聞、雑誌などに出演して発言するジャーナリスト・評論家」で45.5%と半数近くとなった。次が「大学や様々な研究

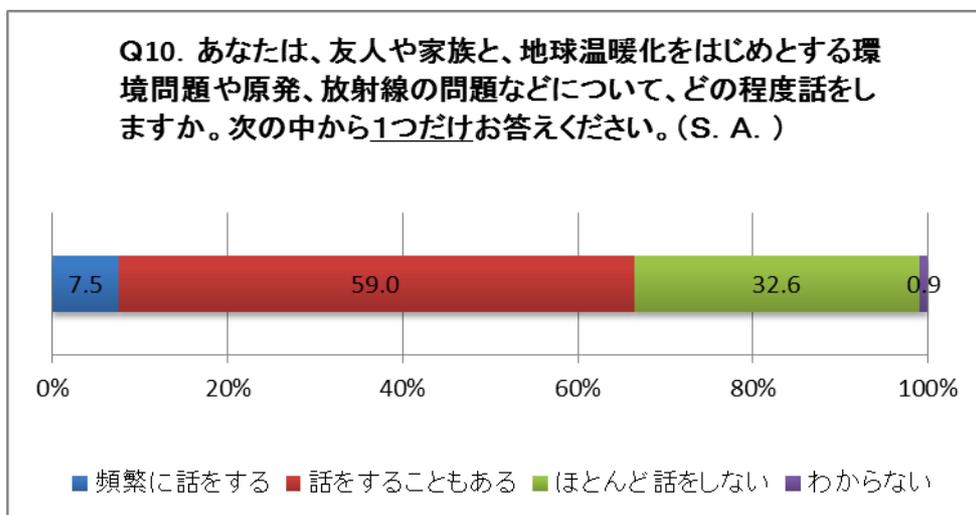
機関の研究者・学者」で27.1%、「国や国の外郭団体」が24.6%、「地方公共団体など」が23.1%「環境保護団体」21.3%、と続く。

インターネット関連の選択肢も、全体としては大きくないが、「特に専門家ではない人のインターネットの個人のホームページや、個人が書きこむ掲示板(ブログなど)」4.3%、「大学や様々な研究機関の研究者や専門家が自分で書き込んでいる個人のホームページ、ブログ、ツイッターの情報」が8.9%と10%近い数字を得ている。

決して専門家とは限定できない人を含む「テレビ、新聞、雑誌などに出演して発言するジャーナリスト・評論家」が信頼できる情報源として過半数を占めたことは、解説や評価に当たって科学と技術の専門知識が必要な環境や大震災、津波、原子力発電所の事故などの事象について、マスメディアの役割は無視できないほど大きいということを意味しているといえるであろう。もし、中途半端な知識や情報のままマスメディアで発信するということがあったとすれば、それはそのまま人々に「信頼できる情報」として受け入れられてしまう可能性を示唆している。

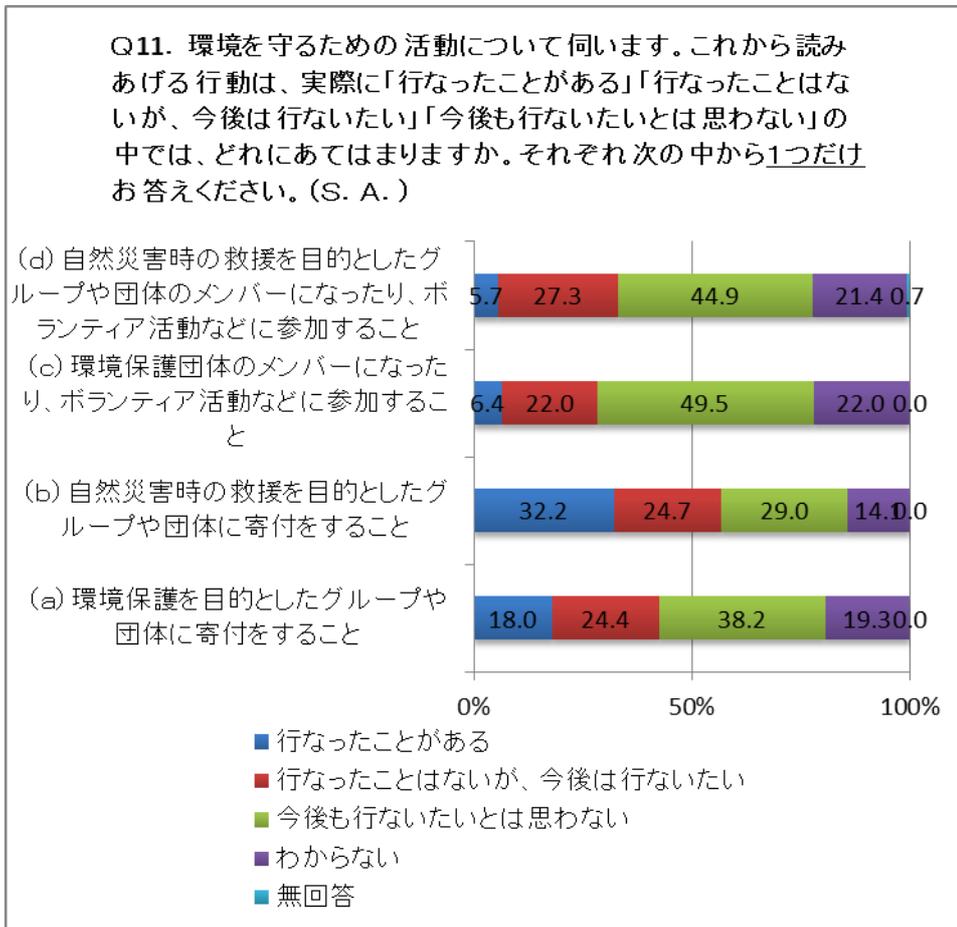
(6) 友人や家族との話題

前の設問において、信頼できる情報源として家族や友人が11.2%の回答を集めたが、実際にはどの程度頻繁に話題にしているのだろうか。以下に結果を示す。



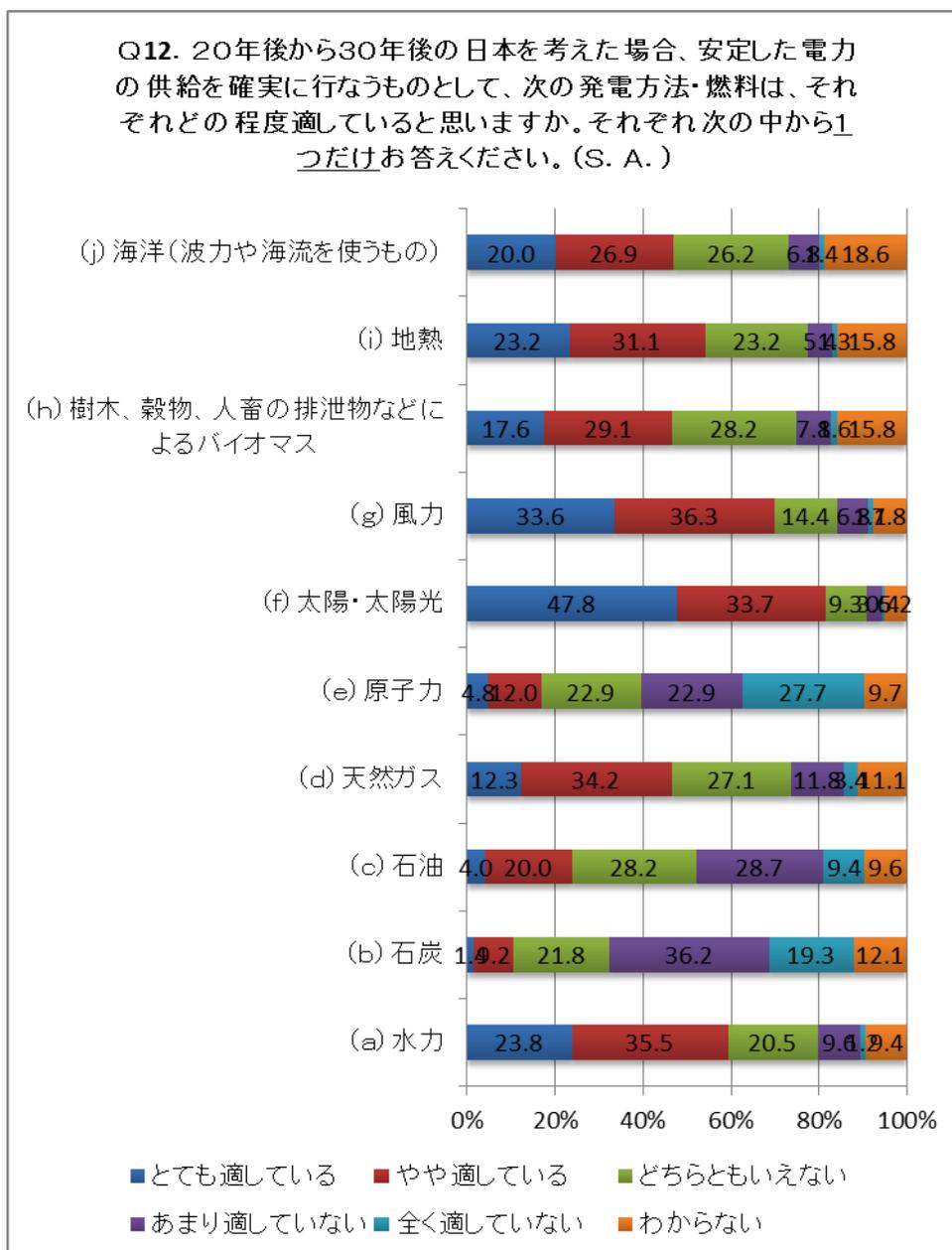
7,5%の回答者が「頻繁に話をする」と回答している。また、59.0%が「話をすることもある」と回答し、比較的家庭で話題になっていることが分かる。

(7) 環境を守るための取り組みへの参加



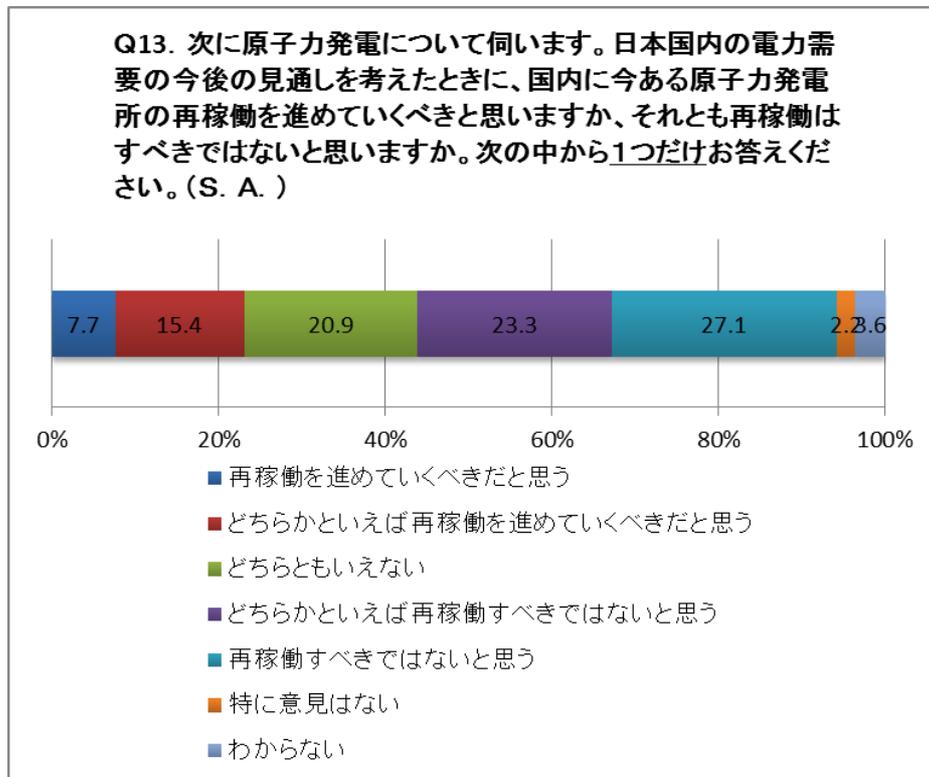
最も「行ったことがある」についての回答率が高かったのは、「(b)自然災害時の救援を目的とした団体に寄付」で32.2%であった。次が「(a)環境保護団体への寄付」で18.0%であった。(b)に関しては、「行ったことはないが、今後は行きたい」が24.7%と合計すると過半数になる。ただ、そのような団体のメンバーになったり、ボランティア活動に参加することについては、行ったことがある(5.7%)、今後行きたい(27.3%)で、半数に満たない。

(8) 様々なエネルギー源に対する好ましさの程度



将来の日本野エネルギー供給について「20～30年後に安定した電力の供給を確実に行う」という観点で10のエネルギー源について、それぞれの評価を聞いた。「とても適している」について、最も選択率の高いものは太陽・太陽光の47.8%、続いて風力の33.6%、水力の23.8%、地熱の23.2%、海洋の20.0%であった。一方、「全く適していない」について最も回答が多かったものが原子力27.7%、石炭が19.3%となった。石炭については、「あまり適していない」を加えると原子力よりも高い比率になる。

(10) 原子力発電所の再稼働について



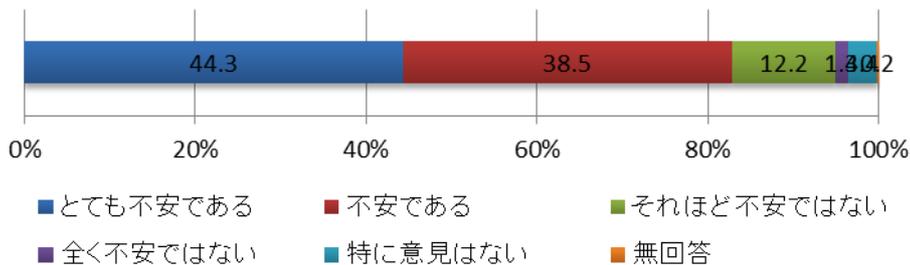
原子力発電所の再稼働の是非について聞いた (Q13)。

「再稼働を進めていくべき」7.7%、「どちらかというに進めていくべき」15.4%、「どちらともいえない」20.9%、「どちらかといえば再稼働すべきではないと思う」23.3%、「再稼働すべきではないと思う」27.1%であった。最も多い回答は「再稼働すべきではない」(27.1%)であるが、大きくは、賛成(再稼働すべき7.7%+どちらかというに進めていくべき15.4%の合計23.1%)、と他の3つの選択肢で大きく4分割される結果となった。また、これらの数字は2013年2月の調査と比べてほとんど動いていない。

(13) 原子力に対する心配度合い

原子力発電所の再稼働をはじめとして、様々な問題は、原子力発電所についての事故などについてどれだけ心配しているかという事とも関連していると考えられる。そこで、心配の程度を聞いた。「とても不安である」44.3%、「不安である」38.5%とあわせて82.8%が心配であるとの回答であった。「それほど不安でない」が12.2%と続いたが、全く心配でないのは1.4%に過ぎない。

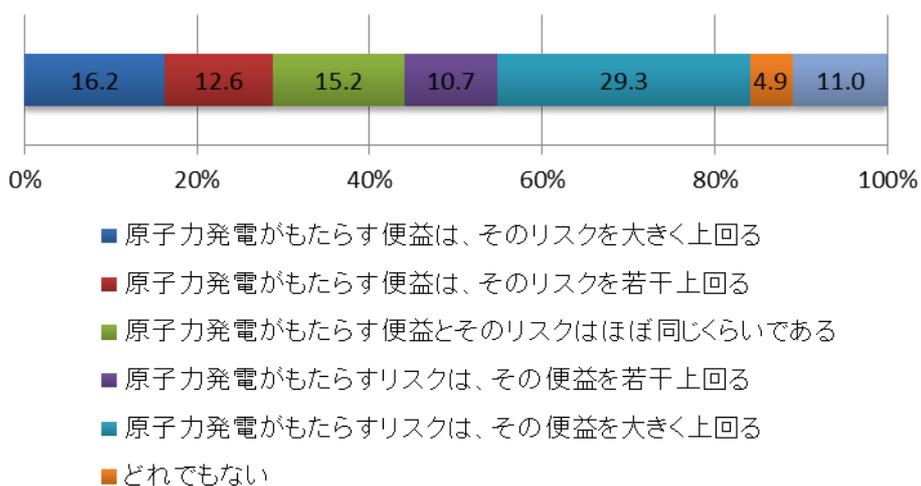
Q14. あなたは、原子力発電の事故による被害について、どのくらい不安ですか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



(14) 原子力発電のリスク・便益比較

心配とともに、人々は便益をどのように評価しているのだろうか。リスクと便益を比較した文章を提示し選んでもらった結果が、以下である。

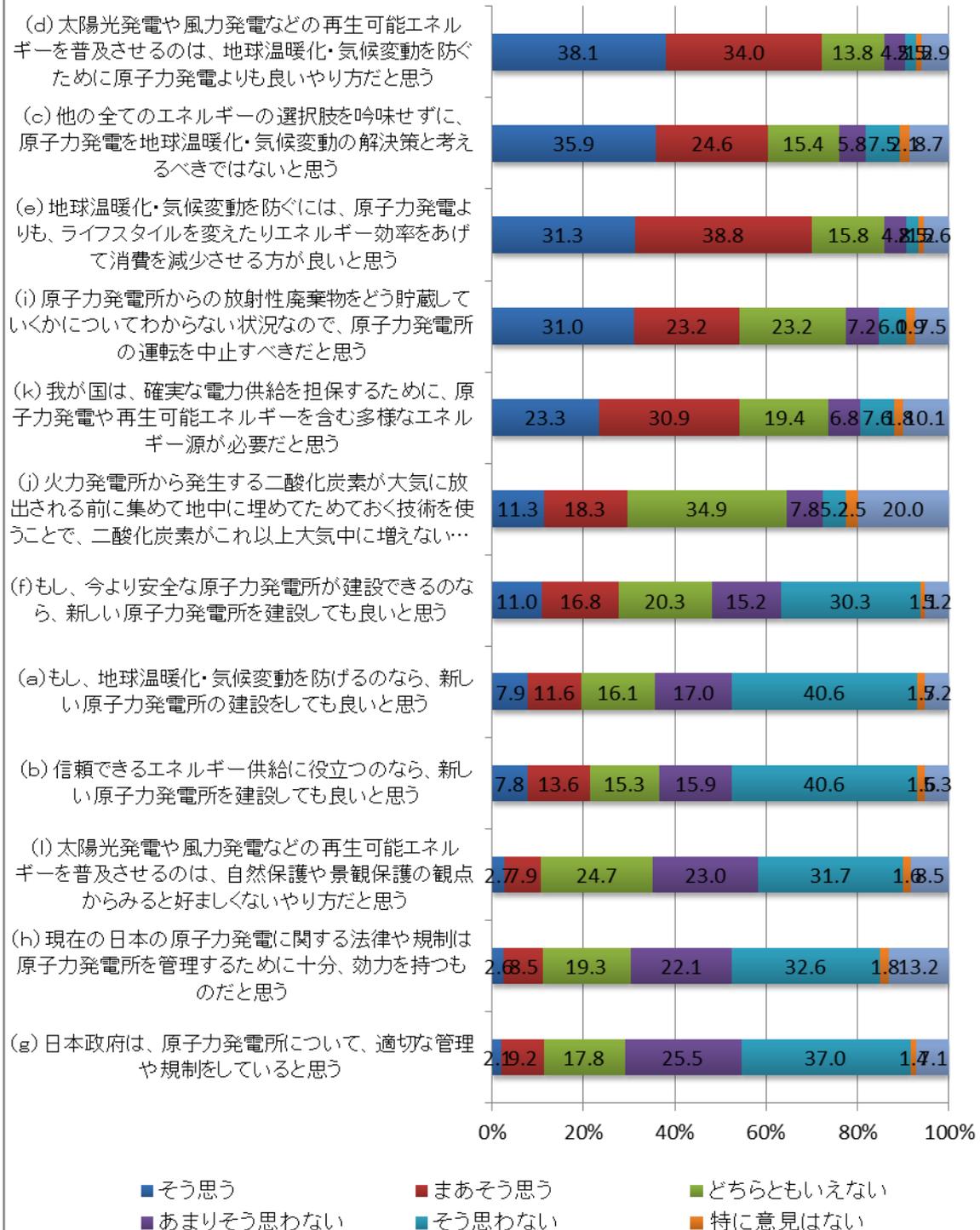
Q15. あなたがこれまでに、日本の原子力発電について知っていることや聞いたことを総合的に判断して、以下の文章のどれがあなたの考えに最も近いでしょうか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



回答のうち、最も多い選択肢が「原子力発電によるリスクは、その便益を大きく上回る」29.3%であり、「原子力発電による便益は、そのリスクを大きく上回る」16.2%、「原子力発電による便益とリスクはほぼ同じくらい」の15.2%、と続く。大きくみて、28.8%の回答者は、「原子力発電の便益はリスクを上回る」と考えており、逆に40.0%の回答者は「原子力発電によるリスクは便益を上回る」と考えている。

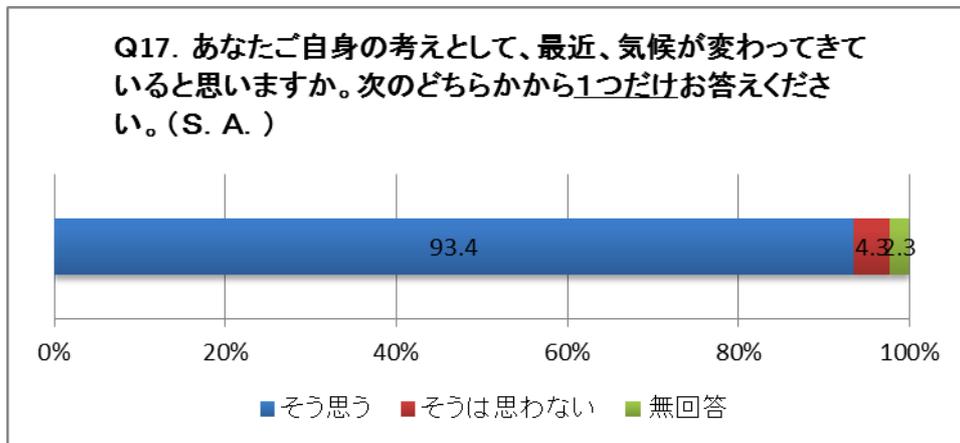
(15) 今後の原子力発電所の対応について

Q16. ここにあげるそれぞれの意見について、あなたはどのように思いますか。(a)から(l)の意見についてお答えください。それぞれ次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

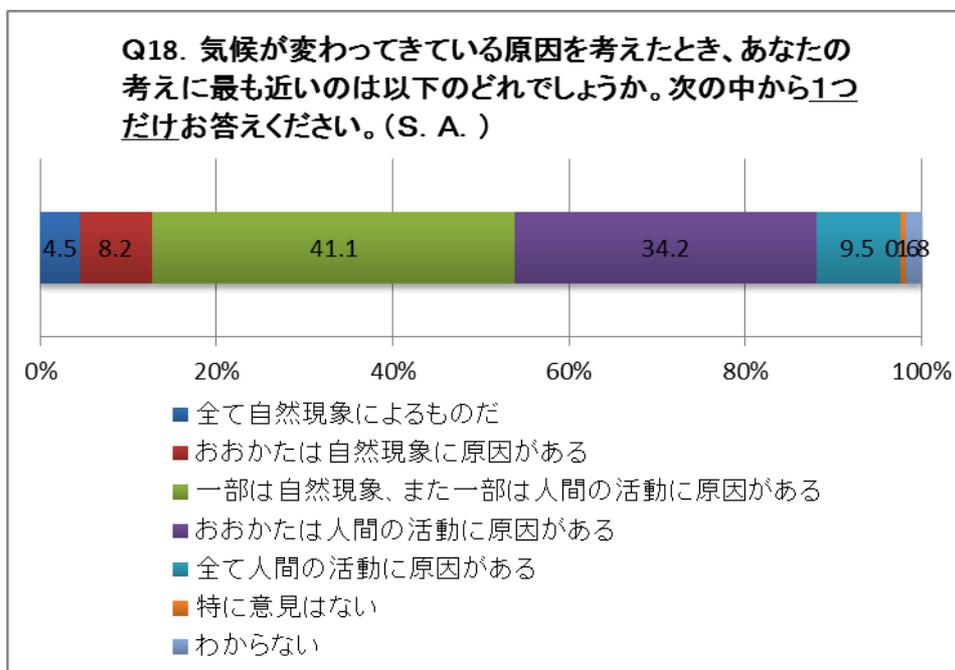


原子力発電、気候変動、再生可能エネルギー等について、12の文章を示し、それぞれの文章について「そう思う」から「そう思わない」までの5段階（と、「特に意見はない」）で評価してもらった。図は「そう思う」の回答の多い順に並べている。これによると、最も「そう思う」の回答率が高い順に(d)→(c)→(e)→(i)となっている。「(d)太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う」、「(c)他のすべてのエネルギーの選択肢を吟味せずに、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う」、「(e)地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う」「(i)原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う」であり、いずれも原子力発電以外の選択肢を吟味していくべきという意見であった。また、この順序は2013年2月実施調査結果と同じ結果となった。逆に、「そう思わない」の回答率が高かったのは、いずれも原子力発電所の管理や規制に対するもの、更新に関するものであった。今回から新たに追加した、「(j)火力発電所から発生する二酸化炭素が大気に放出される前に集めて地中に埋めてためておく技術を使うことで、二酸化炭素がこれ以上大気中に増えないようにする方が、原子力発電所からの電力を使うよりも良いと思う」「(k)我が国は、確実な電力供給を担保するために、原子力発電や再生可能エネルギーを含む多様なエネルギー源が必要だと思う」についてみると、(j)については、「そう思う」が11.3%、「まあそう思う」が18.3%、「どちらとも言えない」が34.9%となった。さらに、「わからない」が20.0%となり、この技術についてあまり馴染みがない様子がうかがえる。(k)については、「そう思う」が23.3%、「まあそう思う」が30.9%、「どちらとも言えない」が19.4%となった。

(16) 最近の地球上の気候の変化について

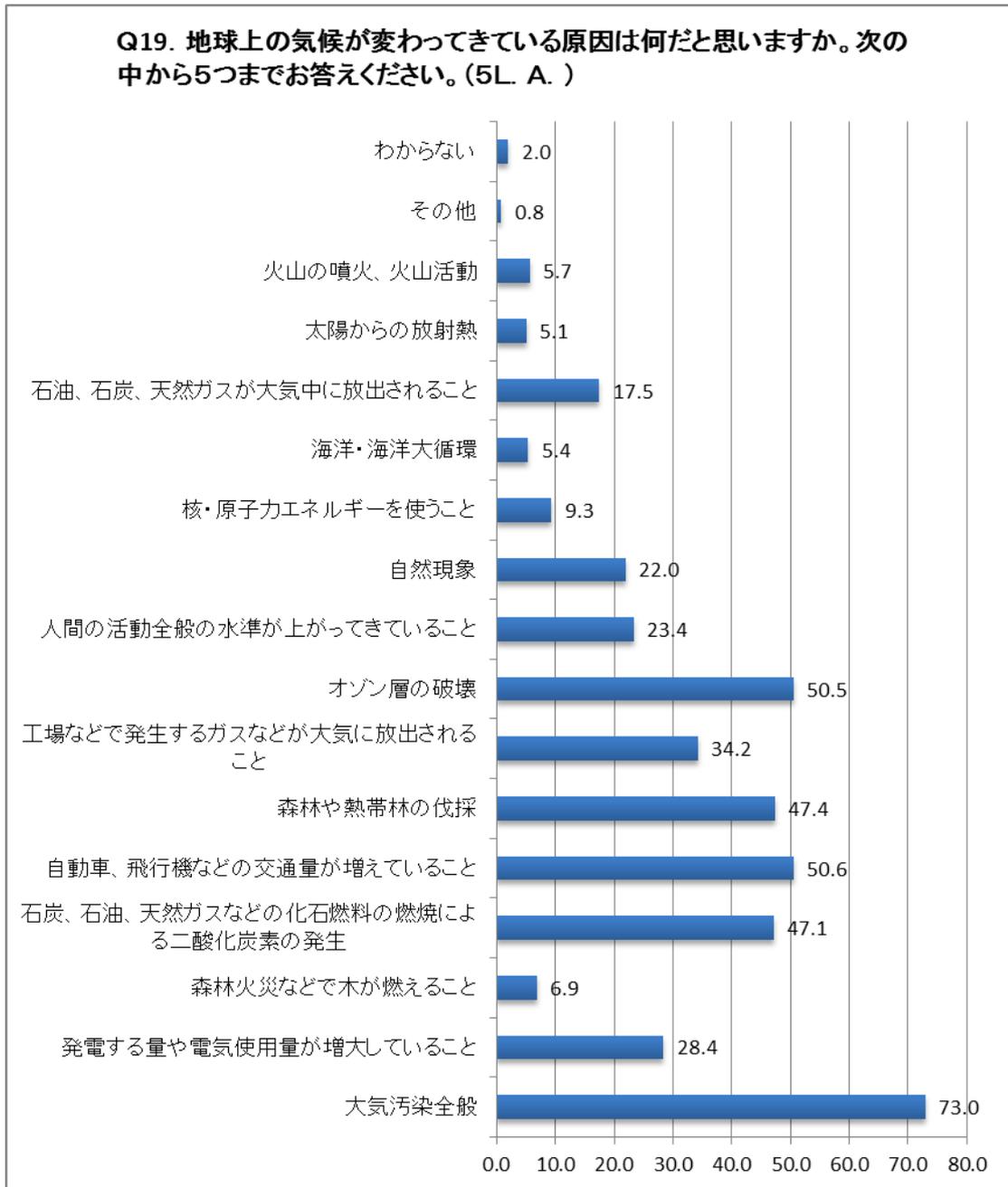


気候変動リスクの認知について確認するために、最近気候が変わってきていると思うか聞いた。93.4%が「そう思う」と回答し、大部分の回答者が最近気候が変わってきていると感じていることがわかった。続いて、「そう思う」と回答した場合に、さらにその原因を聞いた(Q18)。最も多い回答が、「一部は自然減、また一部は人間活動」(41.1%)、「おおかたは人間の活動に原因がある」(34.2%)の二つであり、合計で75.3%になる。「すべてが自然現象」(4.5%)、もしくは「おおかたは自然現象」(8.2%)というものは合計で12.7%であった。



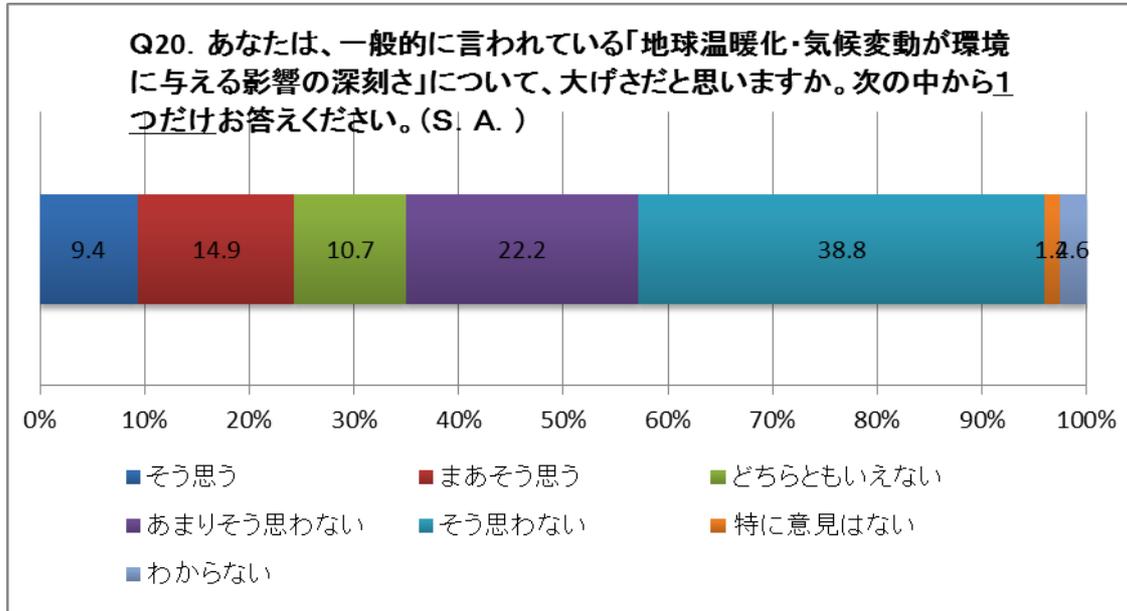
(17) 気候の変化の原因

地球上の気候がかわってきている原因について聞いたところ、「大気汚染全般」が最も多く 73.0%、続いて「自動車飛行機等の交通量が増えていること」50.6%、オゾン層破壊」50.5%、「森林や熱帯林の伐採」が 47.4%、「石炭など化石燃料の燃焼による二酸化炭素の発生」47.1%と続く。



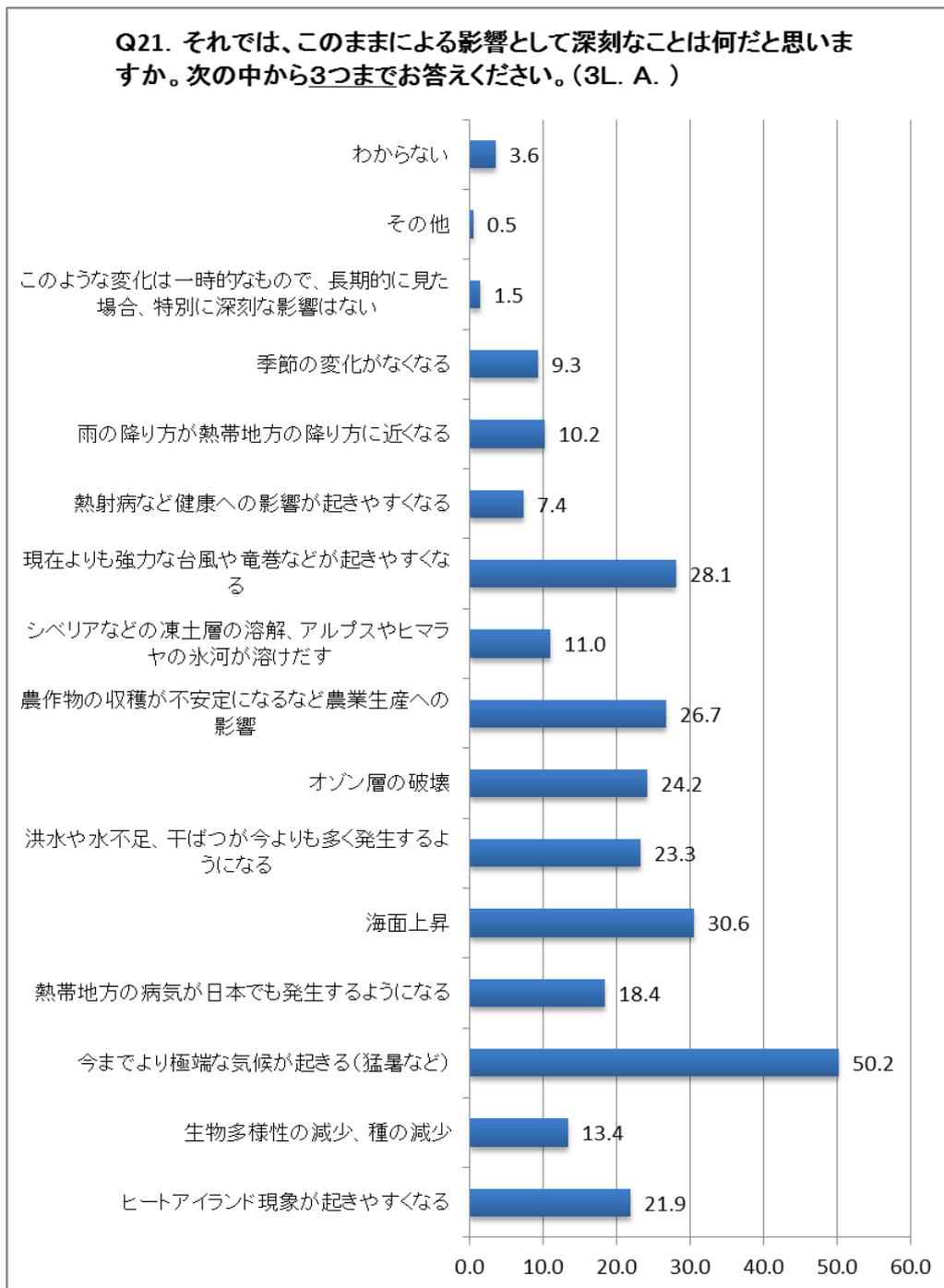
(18) 気候の変化の深刻さ

温暖化の影響は、しばしばマスメディアでとりあげられているが、これについての評価を聞いた。その結果、38.8%の回答者が「そう思わない」と回答し、さらに27.2%が「あまりそう思わない」と合計で66.0%が「そう思わない」との回答であった。

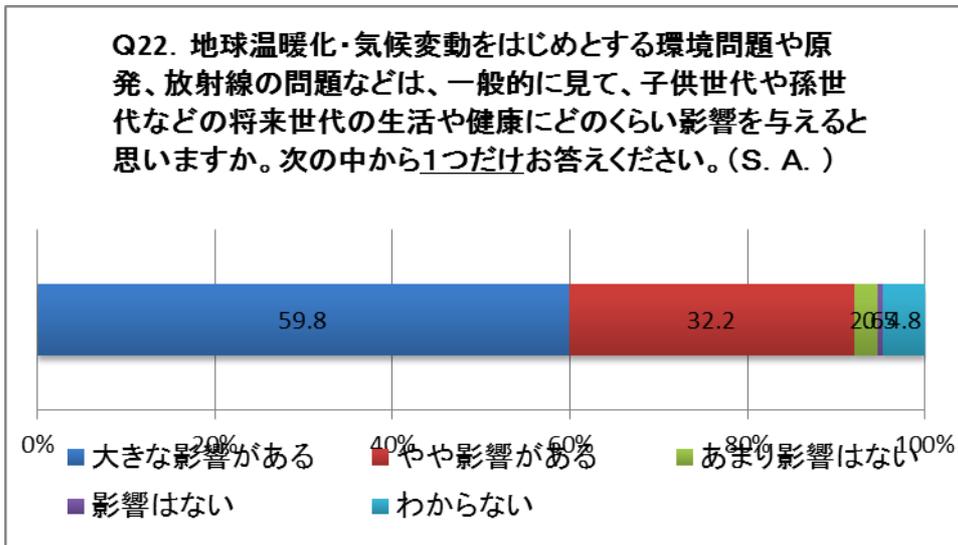


(19) 気候の変化の影響

Q21は、地球上の気候が変化していくことによる影響として深刻なこととして3つまで選んでもらったものである。最も多いのが、「(猛暑など) 今までより極端な気候がおきる」50.2%、「海面上昇」30.6%、「現在よりも強力な台風や竜巻などが起きやすくなる」28.1%、「農産物の収穫が不安定になるなど農業生産への影響」26.7%などである。

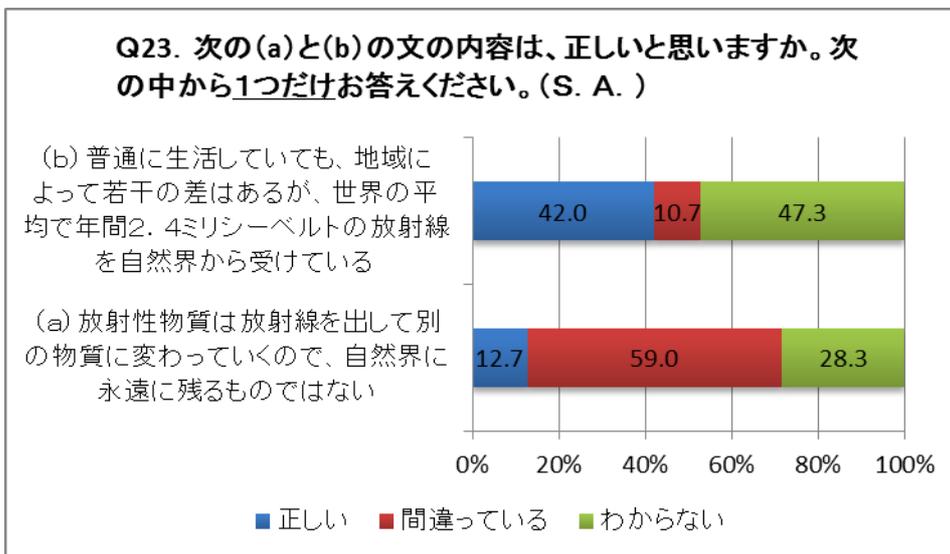


(20) 環境問題の将来世代への影響



環境問題も、東日本大震災による原発事故もいずれも将来世代への影響が議論される問題であることから、それらの影響に対する認知について聞いたのが、Q22 である。59.8%が「大きな影響がある」と回答し、「やや影響がある」(32.2%)とあわせて92%が「影響がある」と回答した。

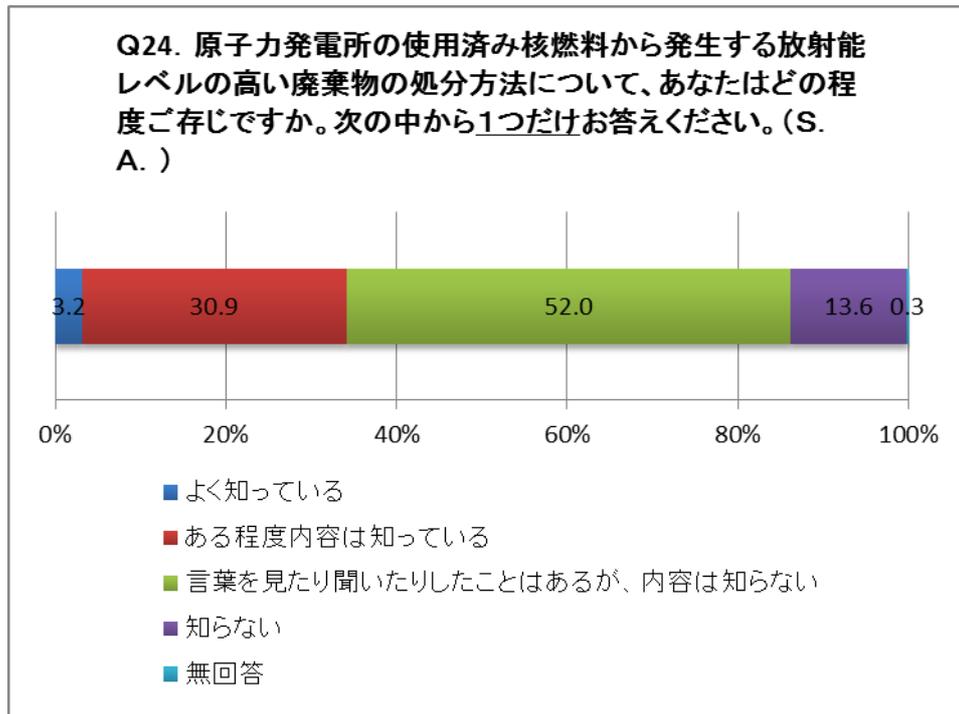
(21) 放射線の性質について



放射能についての2つの質問をした。いずれの文章も正解である。この2問についてみると、(b)は42.0%と半数以上が正答であったが、(a)については、それぞれ12.7%と正答率が低かった。誤答率が(a)は59.0%と非常に高く、大きな誤解が生じていることが見て取れる。さらに、(b)の場合は、「わからない」が47.3%と最大であった。

(22) 使用済み核燃料について

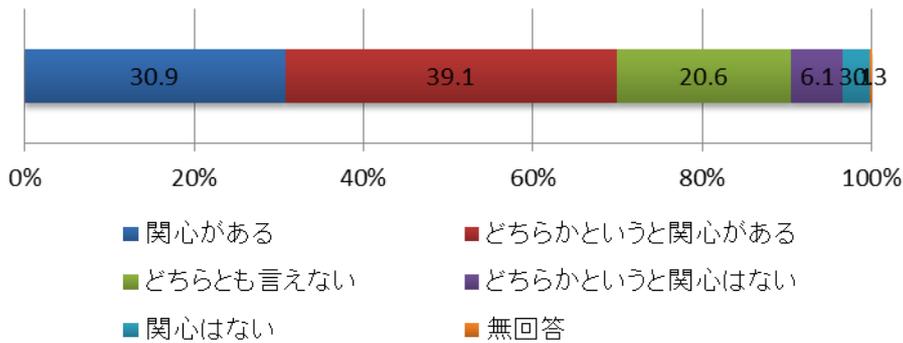
原子力発電所の使用済み燃料については、その取り扱いが議論となってきた。これについて聞いたのが Q24 である。処分方法について知っているか聞いたところ、最も多いのが「言葉を見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない」52.0%であり、「ある程度内容は知っている」が30.9%となった。8割以上の回答者は、使用済み核燃料についての言葉を知っているがその内容について、過半数の人は知らない状況であった。



さらに、その処分方法についての関心を聞いた (Q25)。「関心がある」30.9%、「どちらかというに関心がある」39.1%であり、7割程度の人が関心があることがわかった。

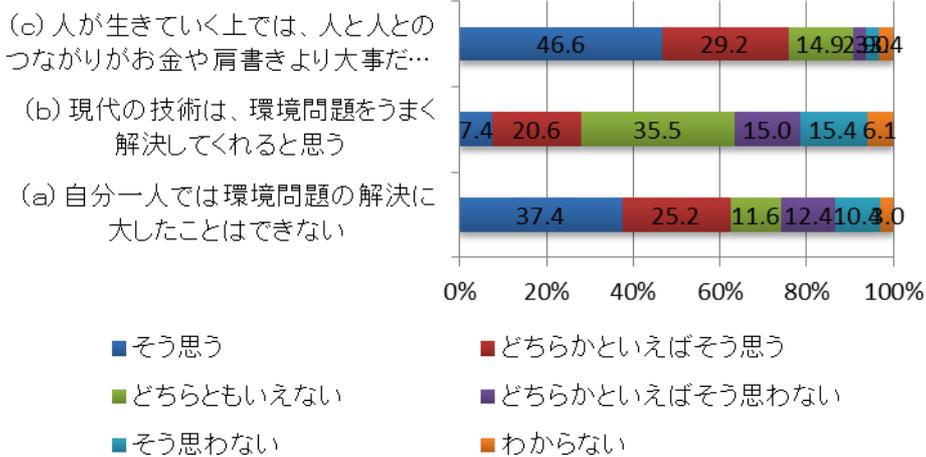
Q25. 原子力発電所の使用済み核燃料から発生する放射能レベルの高い廃棄物の処分方法について、あなたはどの程度関心がありますか。次の中から1つだけお答えください。

(S. A.)



(26) 環境問題や人と人とのつながりについて

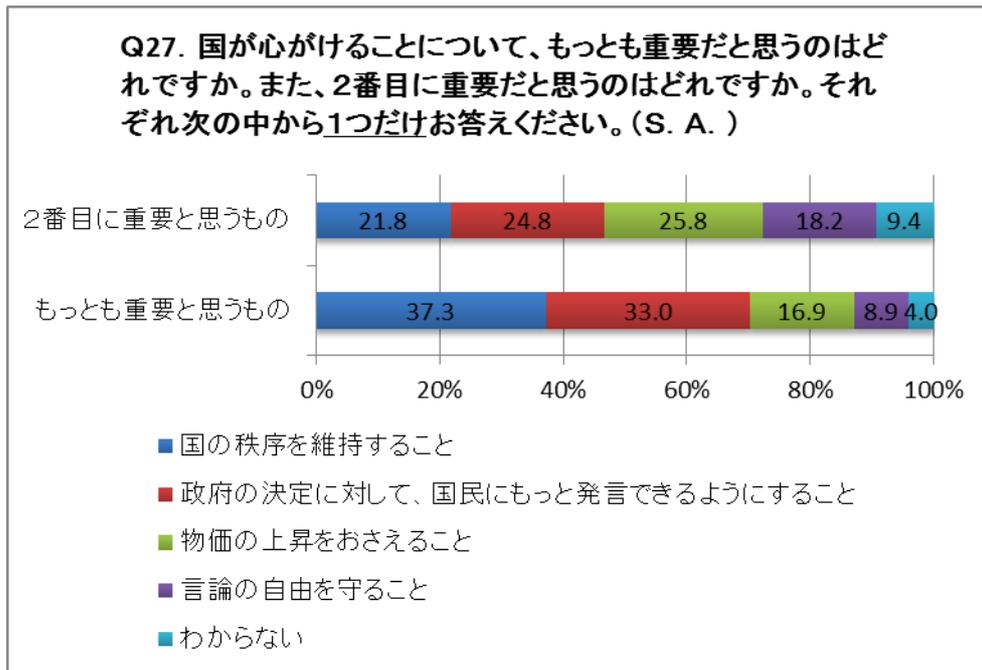
Q26. ここにあげる(a)から(c)の考えについて、あなたはどのように思いますか。それぞれ、次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



環境問題や人と人とのつながりについて3つの質問をした。「自分一人では環境問題の解決に大したことはできない」に「そう思う」(37.4%)と最も多い回答であった。「どちらかといえばそう思う」(25.2%)と合わせると60%以上となった。また現代の技術の有効性についてもあまり肯定的ではなく、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が39.9%であるが、最も多いのが「どちらとも言えない」が単独で35.5%となっている。「人が生きていく上で人と人とのつながりがお金や肩書きより大事」については、46.6%が「そう思う」と回答し、人と人とのつながりの重要性が大きく認識されている。

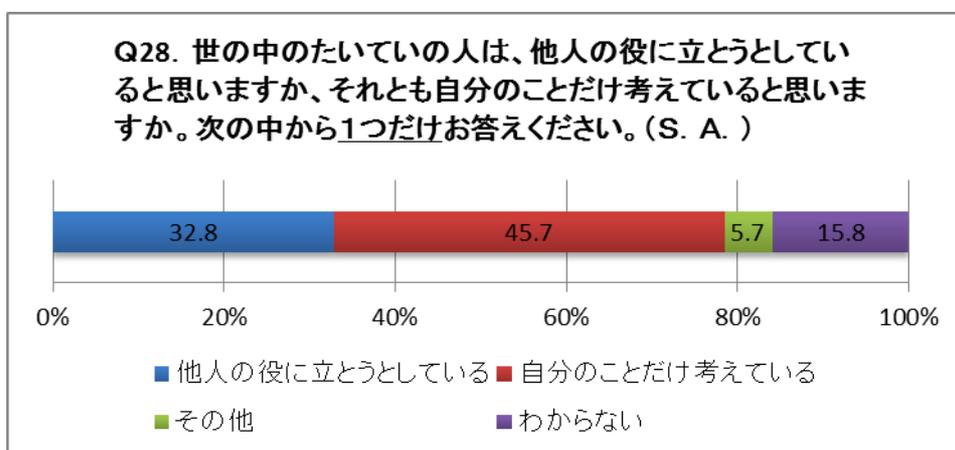
(27) 国が心がけるもの

国の心がけることとして重要なことを順番にあげてもらったところ、1番目に重要なものは「国の秩序」37.3%、「政府の決定にもっと発言」33.0%であり、二番目に重要なものとして、「政府の決定にもっと発言」24.8%、「物価の上昇を抑えること」25.8%となった。



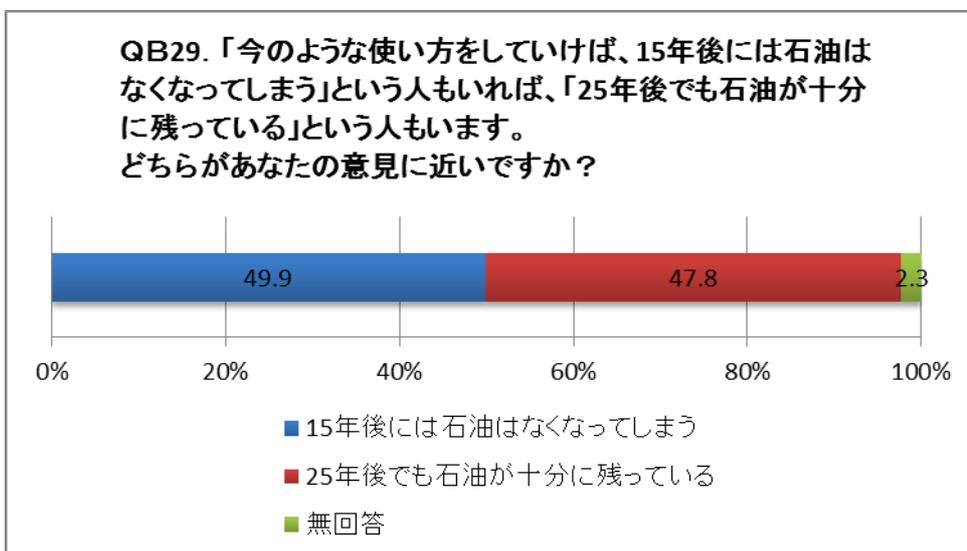
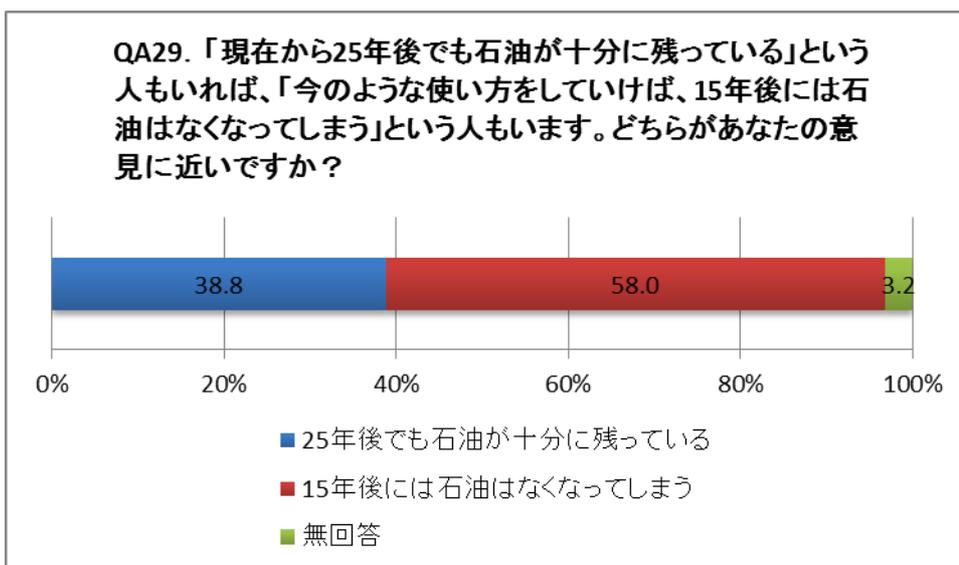
(28) 人の役に立つこと

東日本大震災以降、人々の「絆」が様々な場所で言われたが、その「絆」をはじめとする人々のつながりはどのような状況にあるのだろうか。ここでは、2つの質問をした。まず「世の中のたいていの人は他人の役に立とうとしているか」について聞くと、32.8%が「他人の役に立とうとしている」と回答し、同時にそれより多い45.7%が「自分のことだけ考えている」と回答が大きく二つに分かれる結果となった。

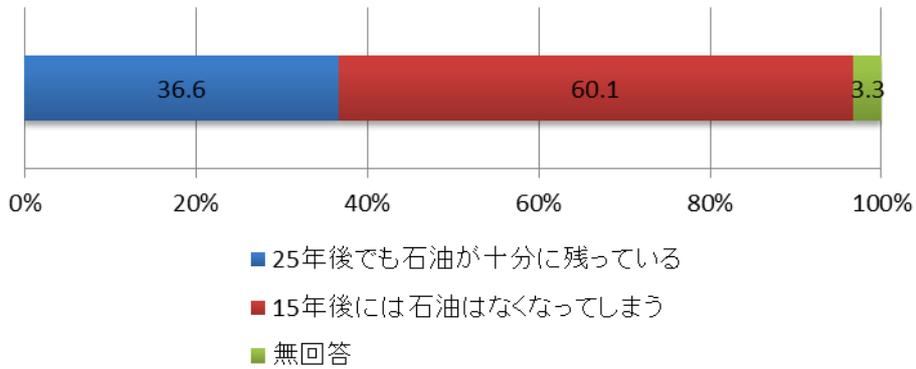


以降は、同じ内容の質問であるが、質問文の作り方が回答分布にどの程度影響があるかをみるために、いくつかのパタンの質問を行っている。回答者はA、B、C、Dの4つのグループに分けられ、それぞれ同じ内容で異なる文章の設問で回答した。

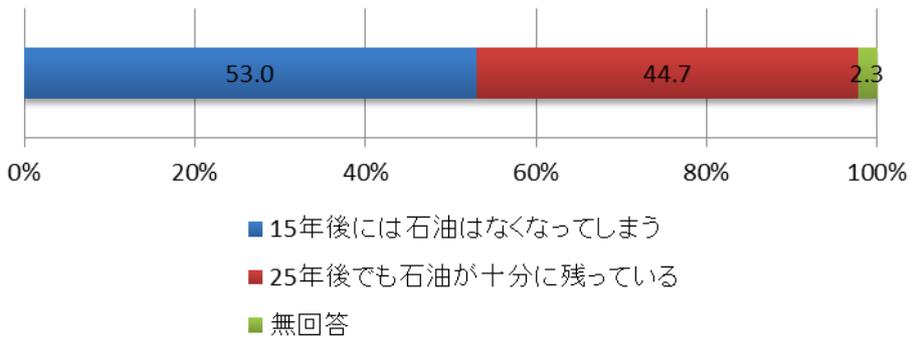
(29) 石油資源



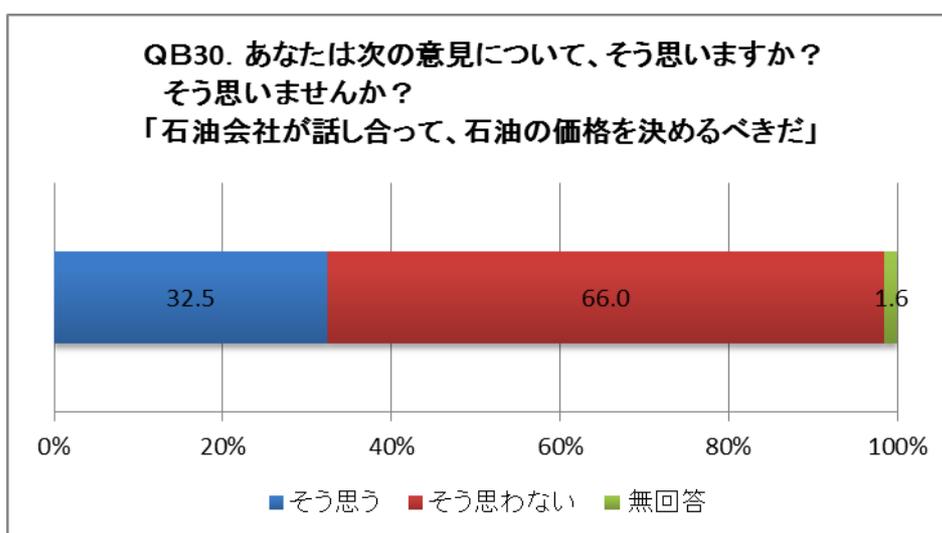
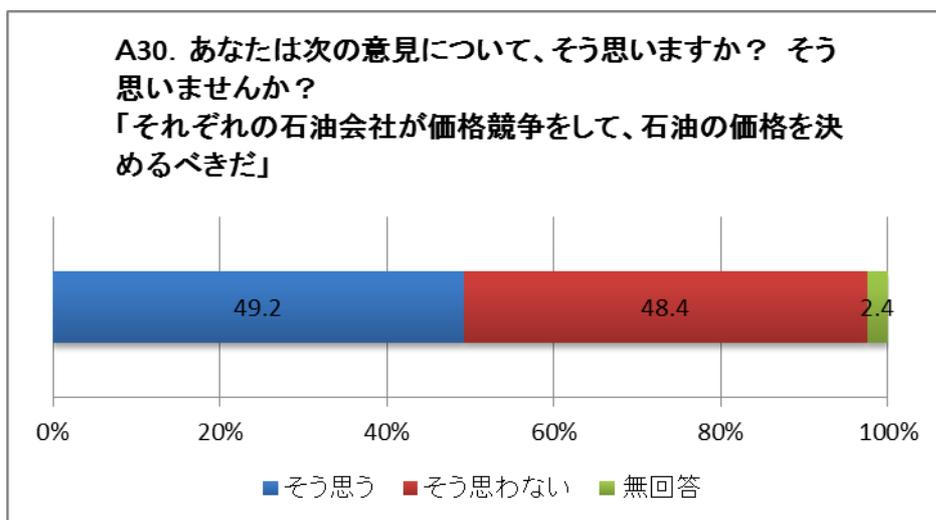
QC29. 現在から25年後でも石油が十分に残っていると思いますか？ それとも、今のような使い方をしていけば、15年後には石油はなくなってしまうと思いますか？



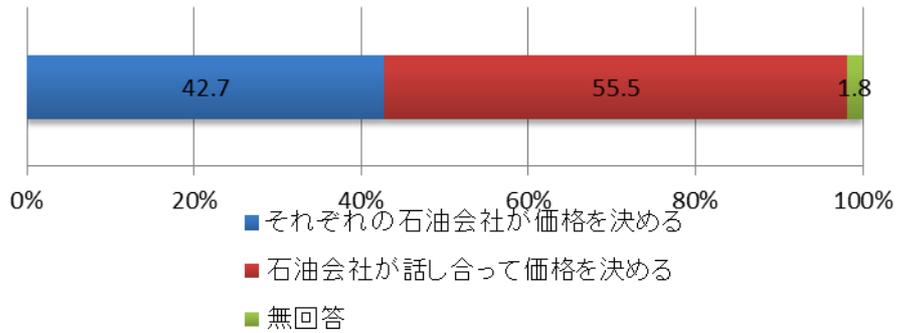
QD29. どちらが、あなたの意見に近いですか？
今のような使い方をしていけば、15年後には石油はなくなってしまうと思いますか？ それとも、25年後でも石油が十分に残っていると思いますか？



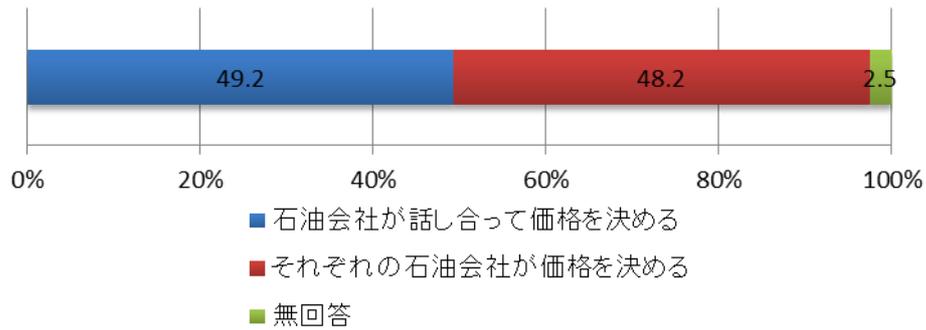
(30) 価格決定



QC30. 石油やガソリンの価格の決め方について、どちらが、あなたの意見に近いですか？
 「それぞれの石油会社が価格競争をして、石油の価格を決める」
 「石油会社が話し合って、石油の価格を決める」

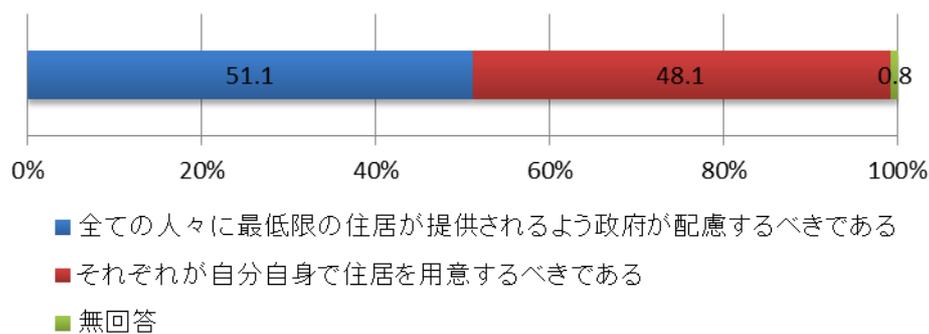


QD30. 石油やガソリンの価格の決め方について、どちらが、あなたの意見に近いですか？
 「石油会社が話し合って、石油の価格を決める」
 「それぞれの石油会社が価格競争をして、石油の価格を決める」

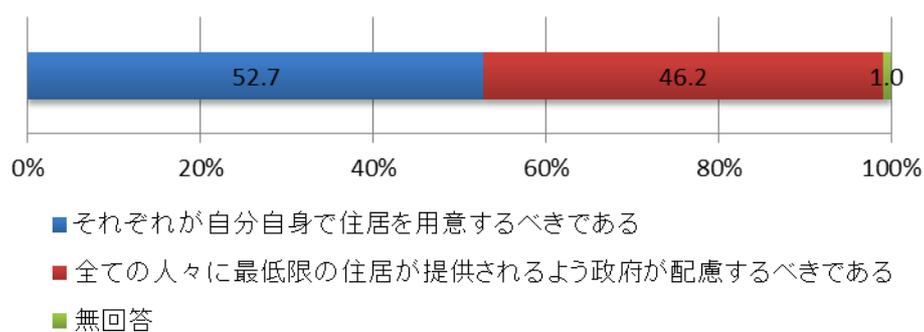


(31) 住宅供給

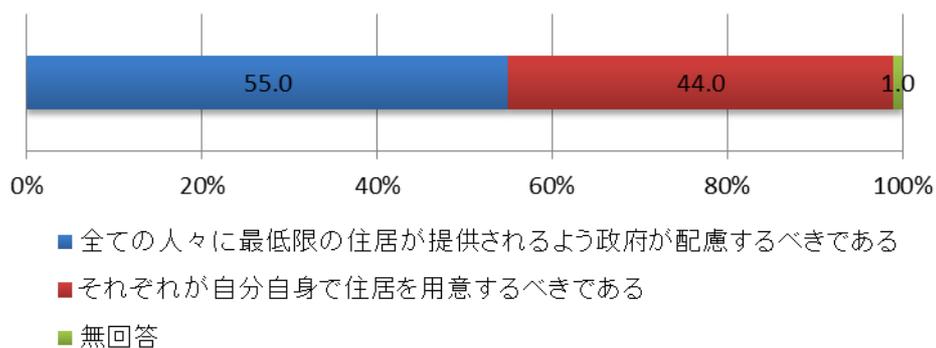
QA31. 全ての人々に最低限の住居が提供されるよう政府が配慮すべきだ、という人もいれば、それぞれが自分自身で住居を用意すべきだ、という人もいます。どちらが、あなたの意見に近いですか？



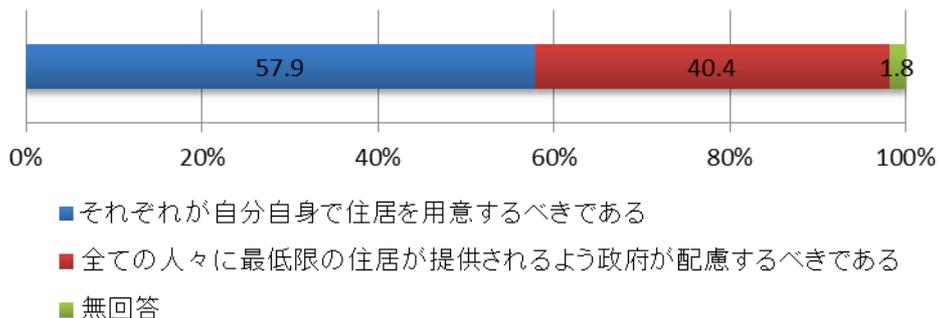
QB31. それぞれが自分自身で住居を用意すべきだ、という人もいれば、全ての人々に最低限の住居が提供されるよう政府が配慮すべきだ、という人もいます。どちらが、あなたの意見に近いですか？



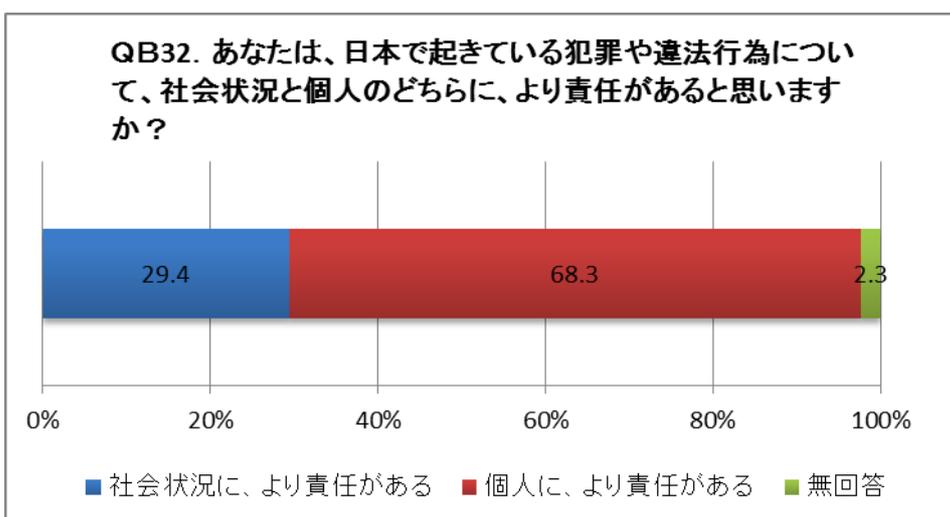
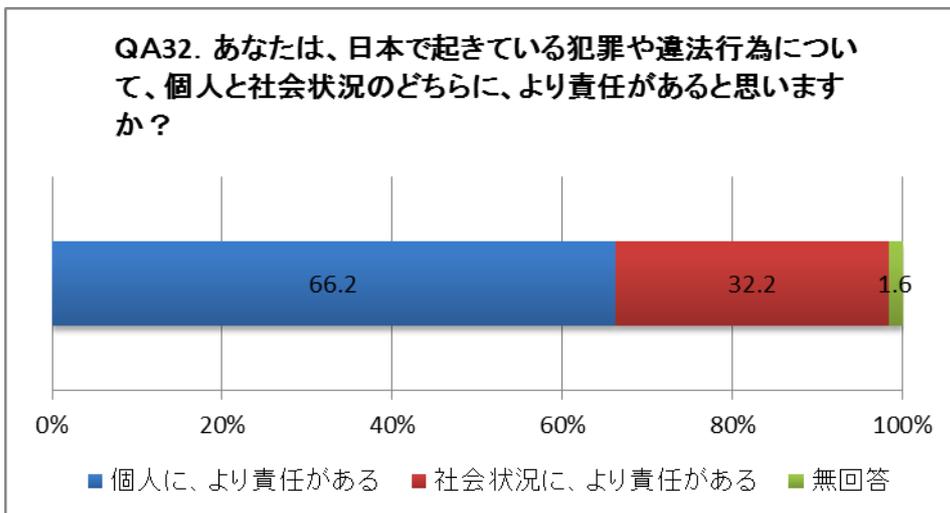
QC31. 次のうち、どちらがあなたの意見に近いですか？
 「全ての人々に最低限の住居が提供されるよう政府が配慮するべきである」
 「それぞれが自分自身で住居を用意するべきである」



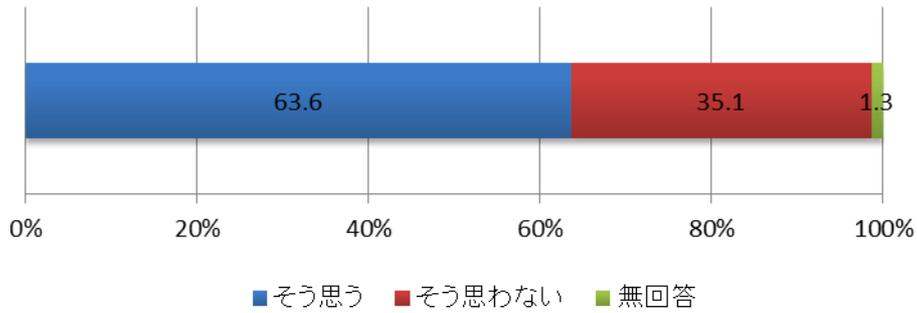
QD31. 次のうち、どちらがあなたの意見に近いですか？
 「それぞれが自分自身で住居を用意するべきである」
 「全ての人々に最低限の住居が提供されるよう政府が配慮するべきである」



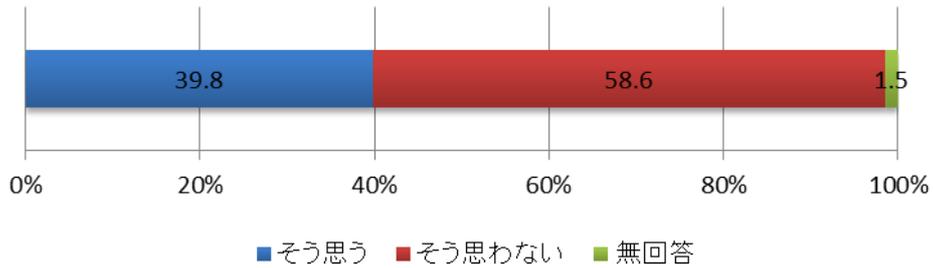
(32) 個人か社会か



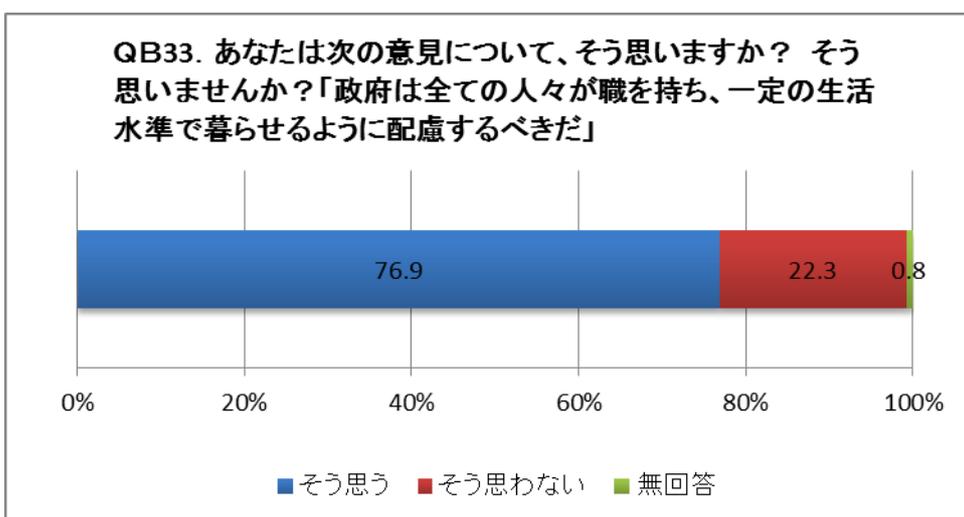
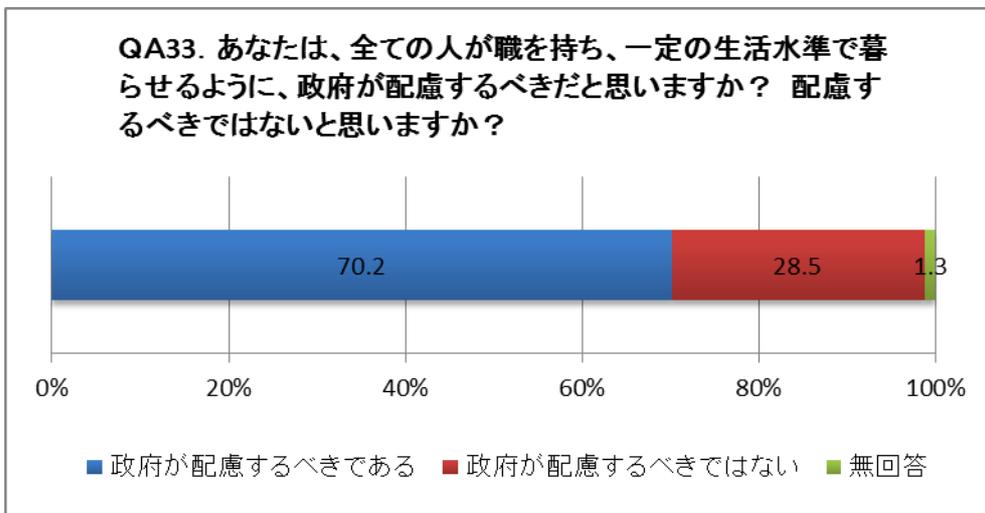
QC32. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう
思いませんか？「日本で起きている犯罪や違法行為は、社
会状況よりも個人に責任がある」



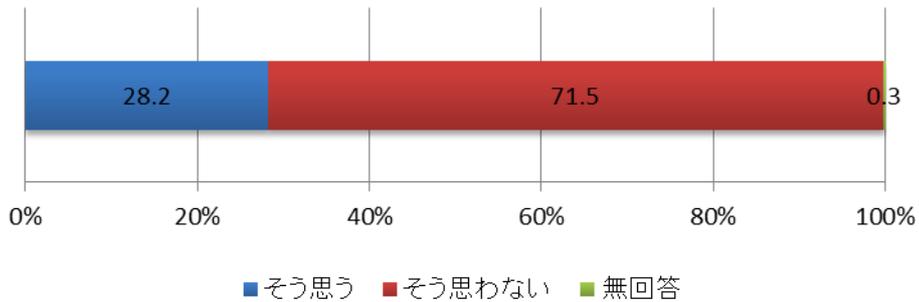
QD32. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう
思いませんか？「日本で起きている犯罪や違法行為は、個
人よりも社会状況に責任がある」



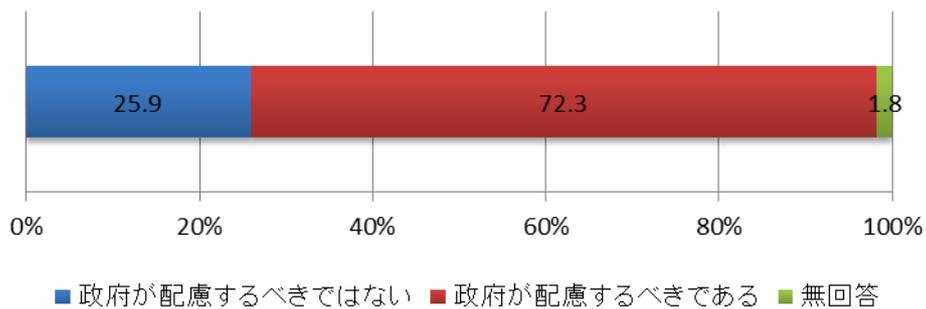
(33) 政府の役割



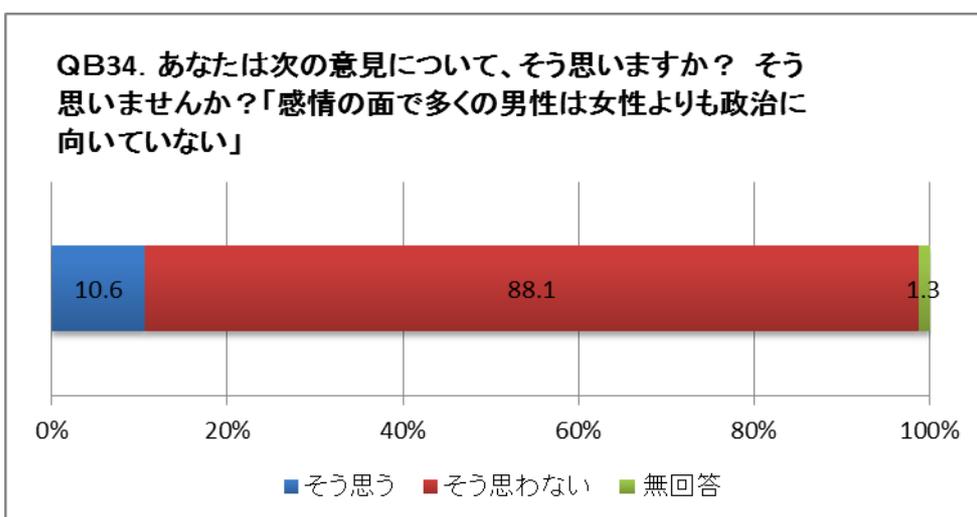
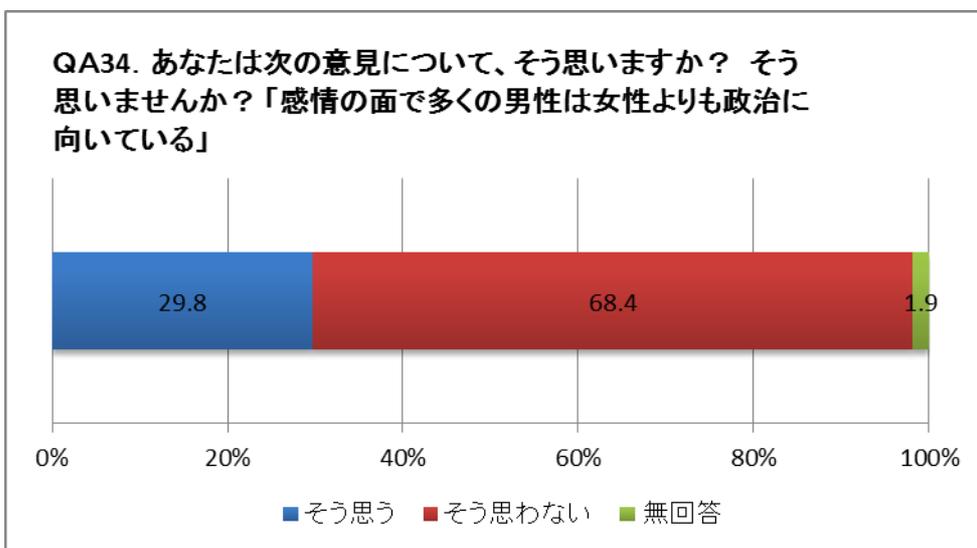
QC33. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう
思いませんか？
「政府は全ての人々が職を持ち、一定の生活水準で暮らせ
るように配慮すべきではない」



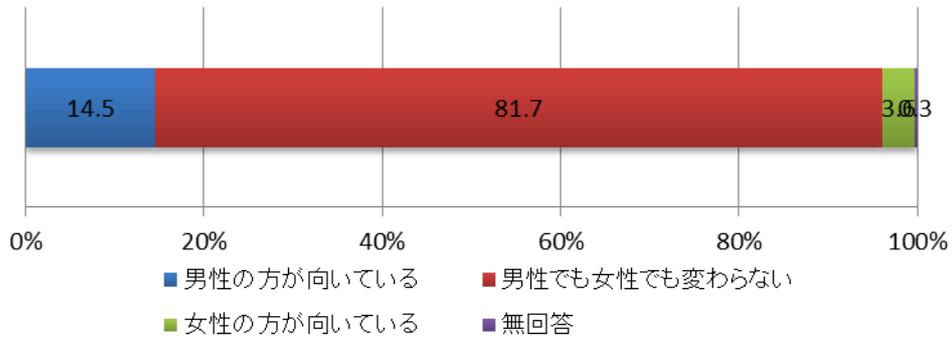
QD33. あなたは、全ての人が職を持ち、一定の生活水準で
暮らせるように、政府が配慮すべきではないと思いま
すか？ 配慮すべきだと思いますか？



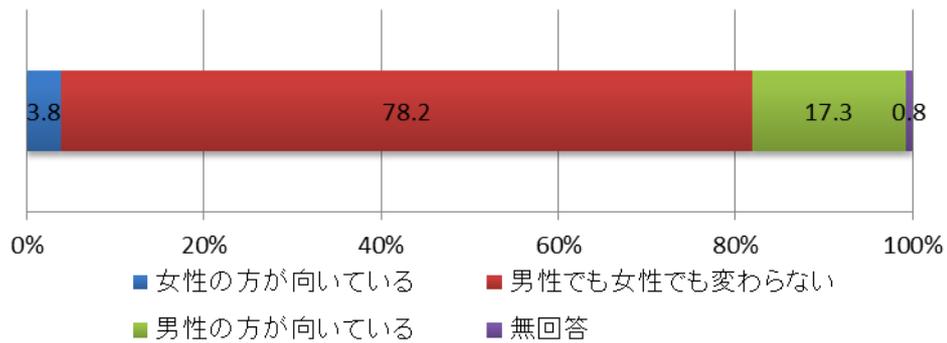
(34) 政治に向いているかどうか



QC34. あなたは感情の面で多くの男性は女性よりも政治に向いていると思いますか？ 男性も女性も変わらないと思いますか？ それとも、女性の方が向いていると思いますか？

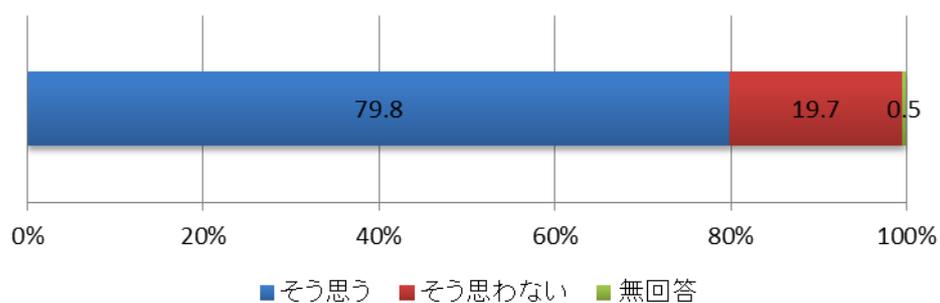


QD34. あなたは感情の面で多くの女性は男性よりも政治に向いていると思いますか？ 男性も女性も変わらないと思いますか？ それとも、男性の方が向いていると思いますか？

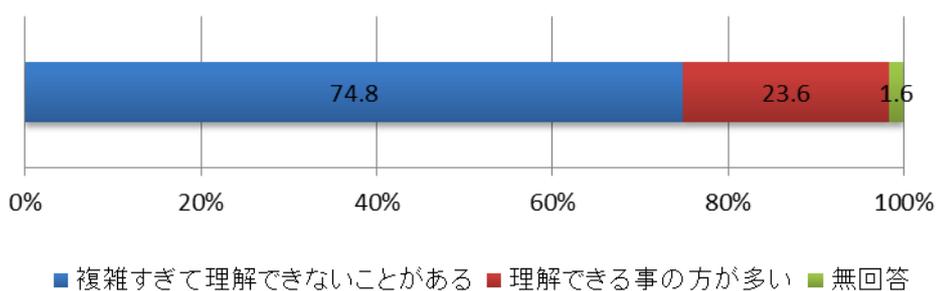


(35) 政治で起きていること

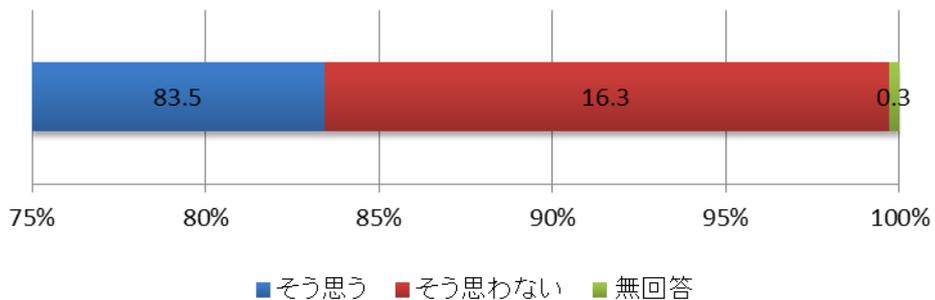
QA35. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう
思いませんか？
「政策や政府について、何が起きているのか、私にはよく分か
らないほど複雑に思えることがある」



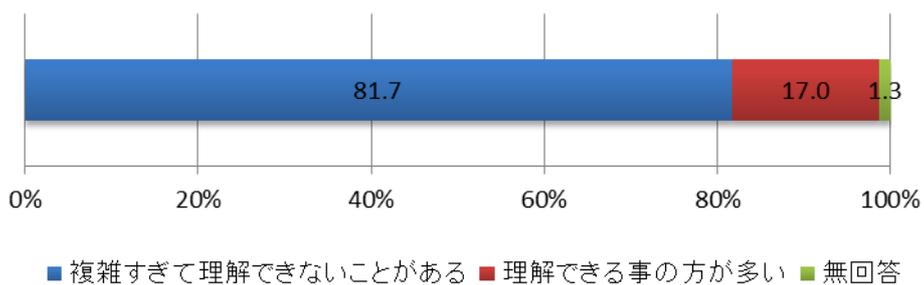
QB35. あなたは、政治や政府について何が起きているのか、
よく分からないほど複雑だと思いますか？ それとも、何が起
こっているか理解できることの方が多いと思いますか？



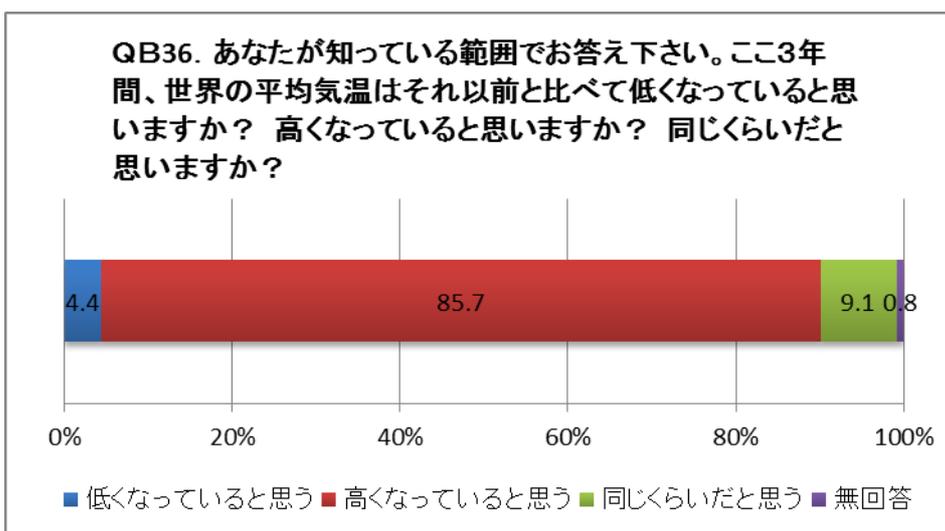
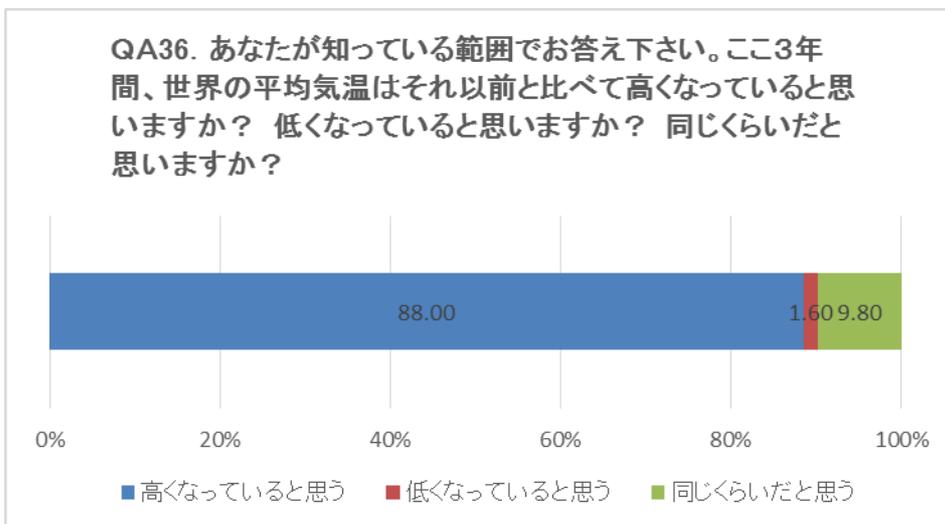
QC35. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう
思いませんか？「政策や政府について、何が起きているの
か、私にはよく分からないほど複雑に思えることがある」



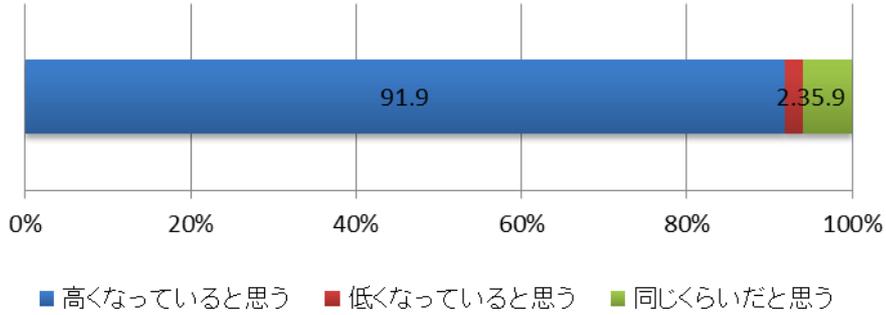
QD35. あなたは、政治や政府について何が起きているのか、
よく分からないほど複雑だと思えますか？ それとも、何が起
こっているか理解できる事の方が多いと思えますか？



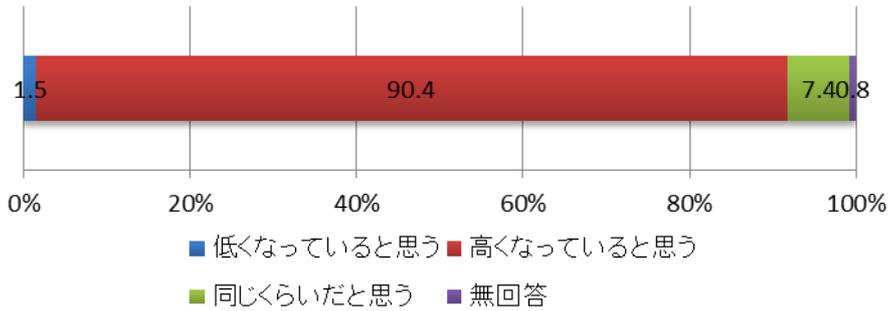
(36) 世界の気温



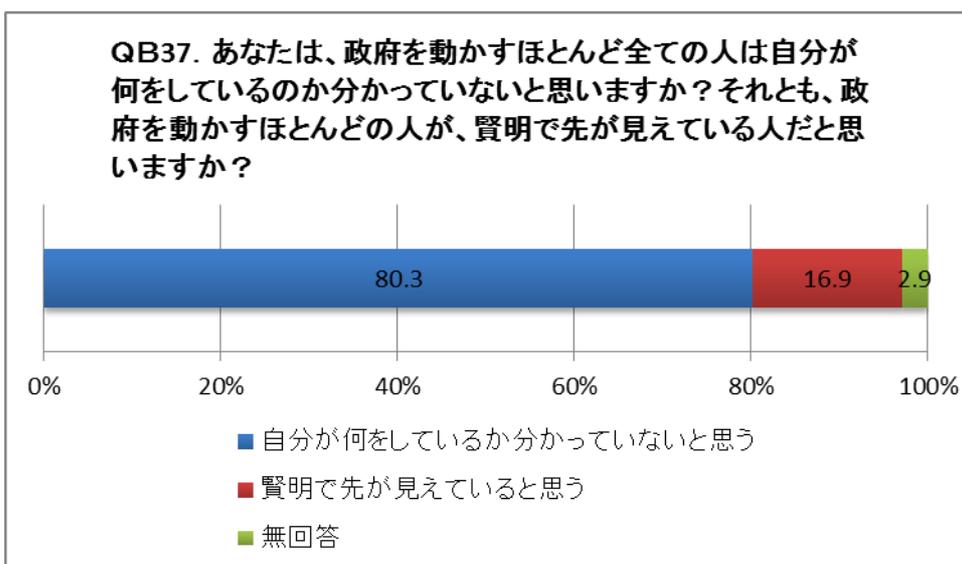
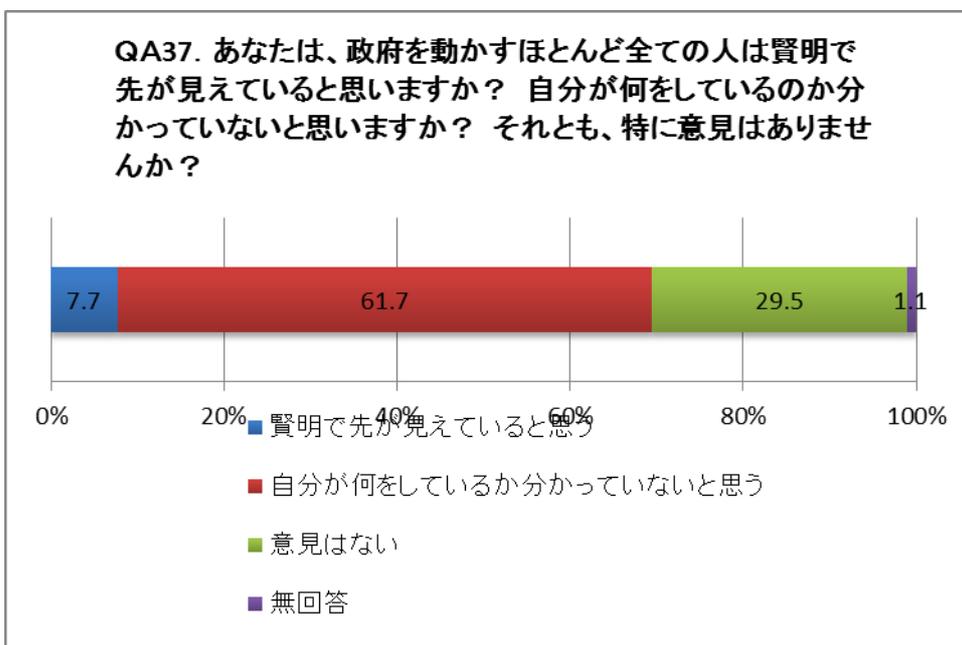
QC36. あなたが知っている範囲でお答え下さい。ここ3年間、世界の平均気温はそれ以前と比べて高くなっていると思いますか？ 低くなっていると思いますか？ 同じくらいだと思いますか？



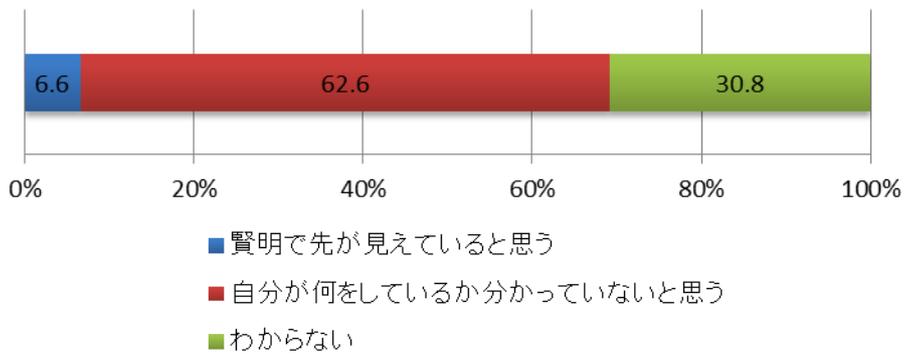
QD36. あなたが知っている範囲でお答え下さい。ここ3年間、世界の平均気温はそれ以前と比べて低くなっていると思いますか？ 高くなっていると思いますか？ 同じくらいだと思いますか？



(37) 政府を動かす人々



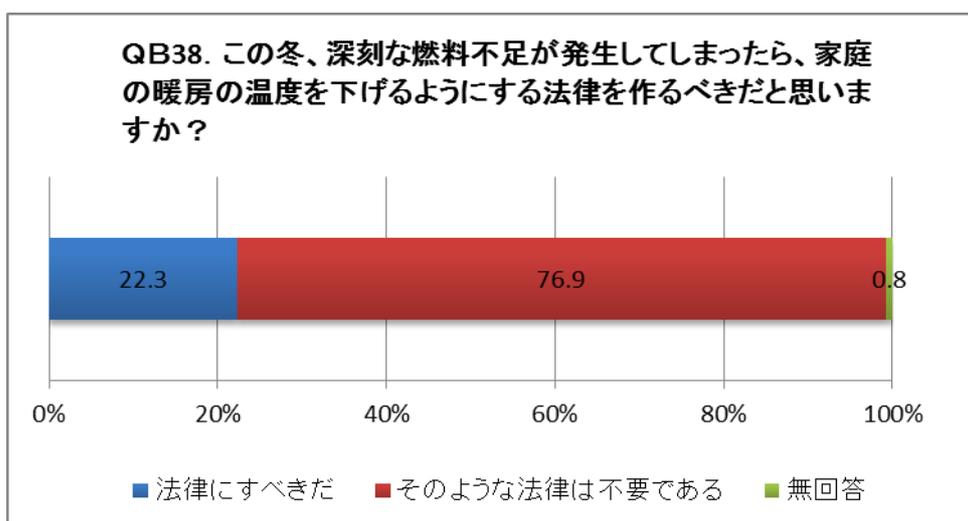
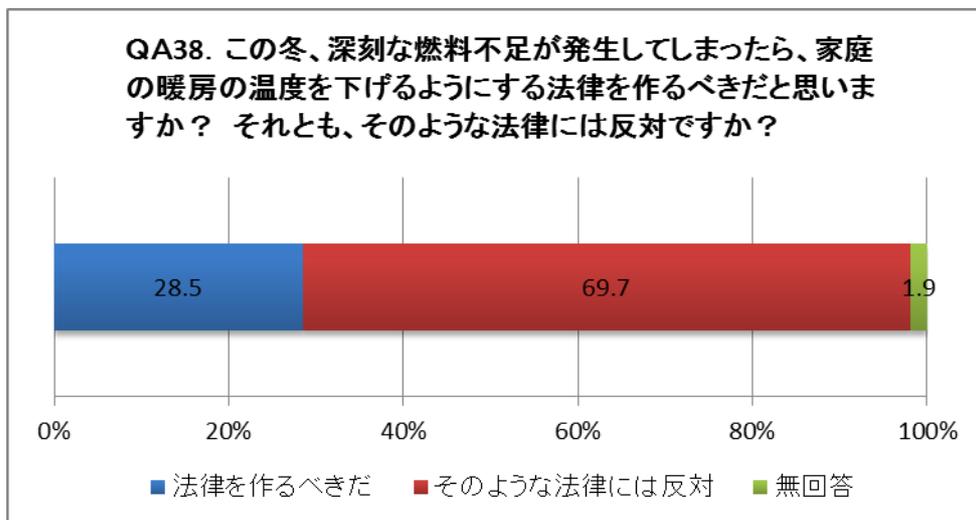
QC37. あなたは、政府を動かすほとんど全ての人は賢明で先が見えている人だと思いますか？ 自分が何をしているのか分かっていないと思いますか？ それとも、この事については、よくわからないですか？



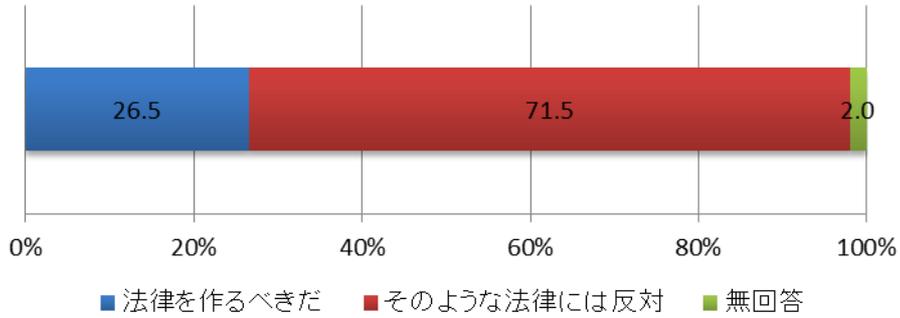
QD37. あなたは、政府を動かすほとんど全ての人は賢明で先が見えている人だと思いますか？ ほとんどの人が、自分が何をしているのか分かっていないと思いますか？



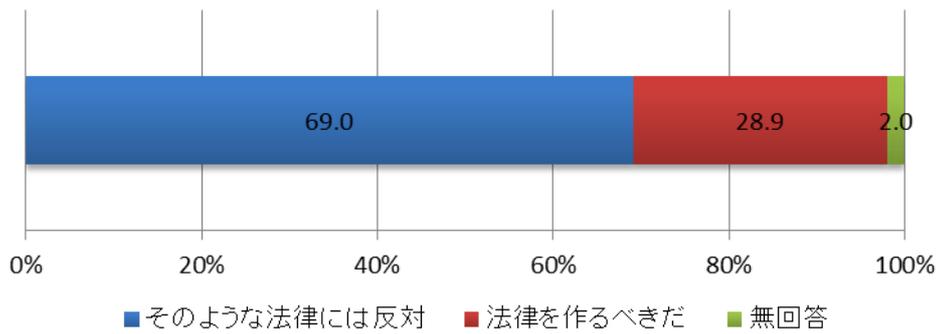
(38) 深刻な燃料不足



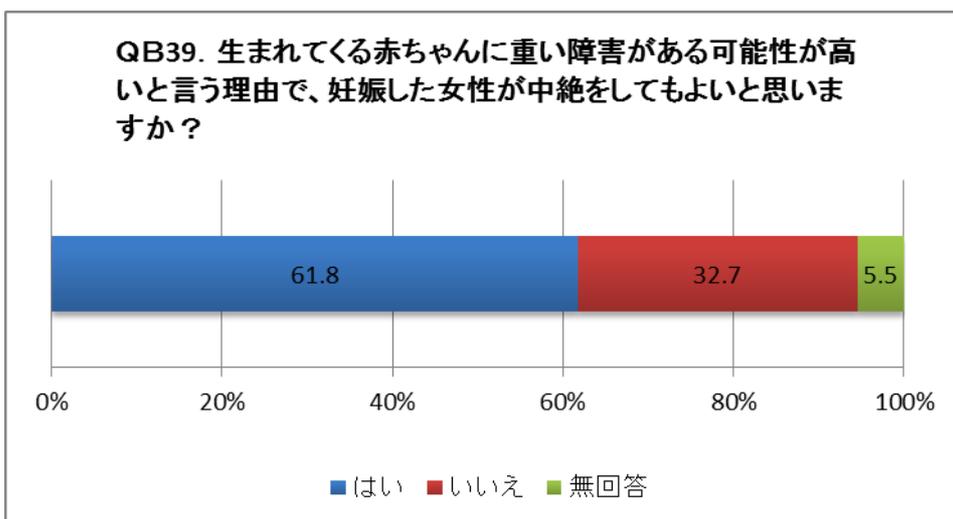
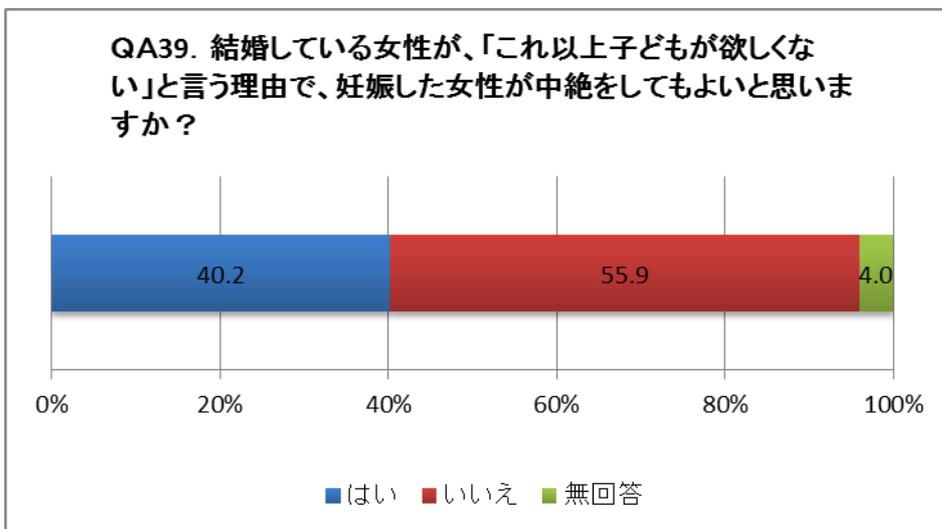
QC38. この冬、深刻な燃料不足が発生してしまったら、家庭の暖房の温度を下げるようにする法律を作るべきだと思いますか？ それとも、強制するのは難しいので、そのような法律には反対ですか？



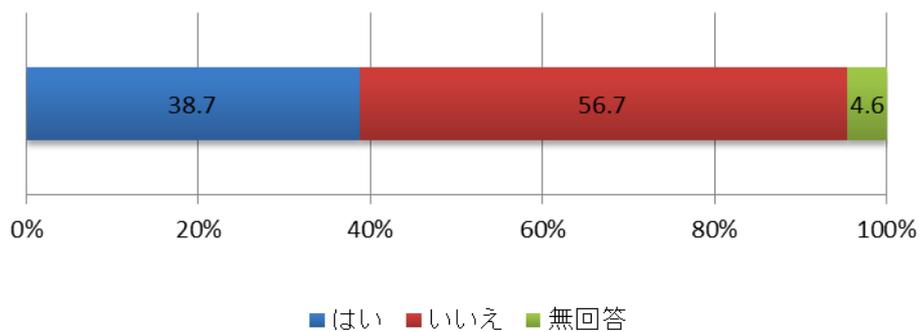
QD38. この冬、深刻な燃料不足が発生してしまったとしても、家庭の暖房の温度を下げるようにする法律は作るべきでないと思いますか？ それとも、法律を作るべきだと思いますか？



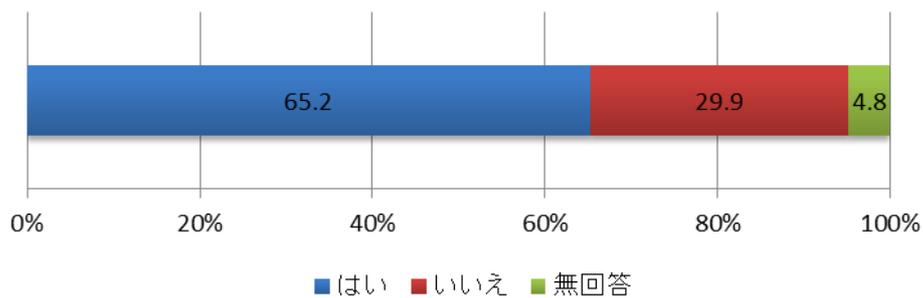
(39) 中絶の可否 1



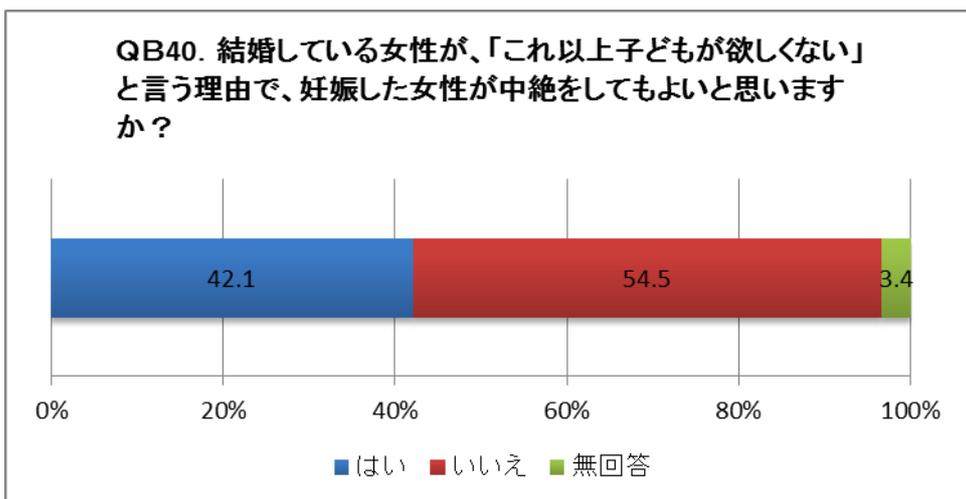
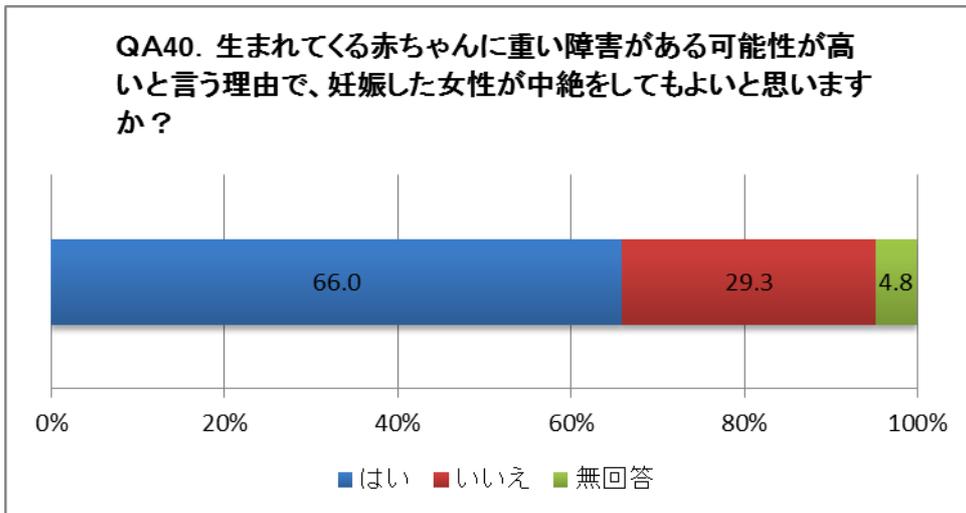
QC39. 結婚している女性が、「これ以上子どもが欲しくない」という理由で、妊娠した女性が中絶をしてもよいと思いますか？



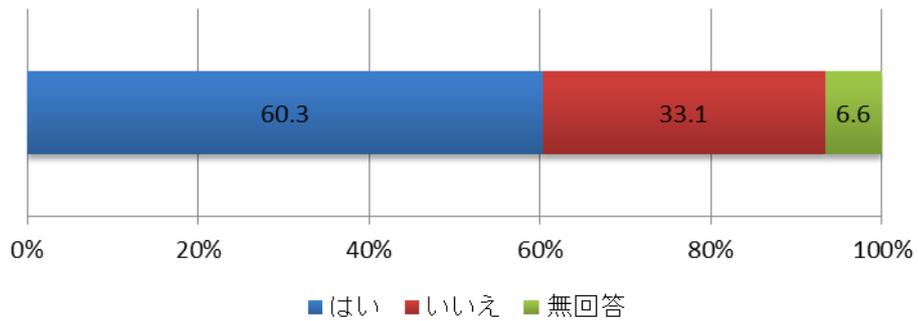
QD39. 生まれてくる赤ちゃんに重い障害がある可能性が高いという理由で、妊娠した女性が中絶をしてもよいと思いますか？



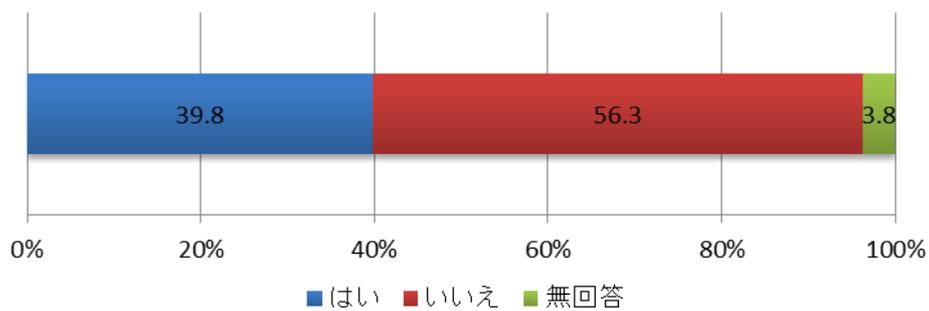
(40) 中絶の可否 2



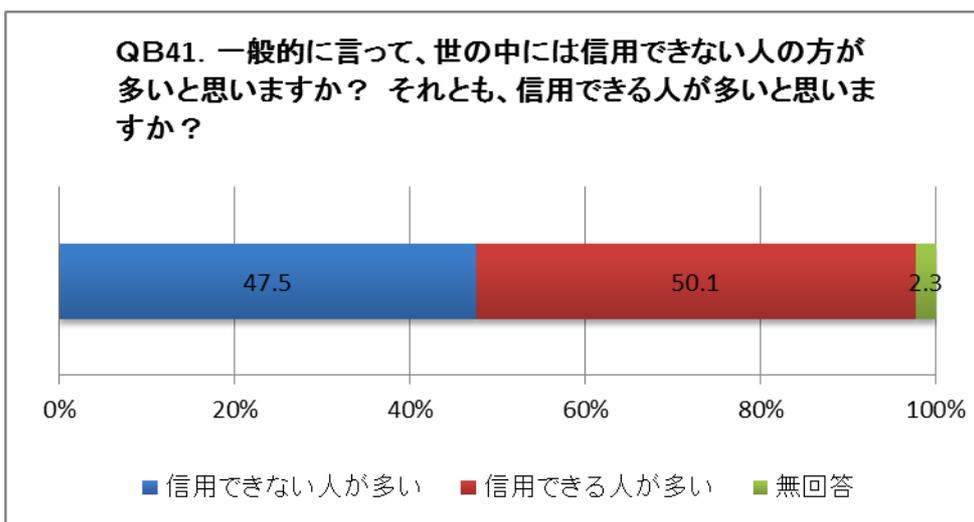
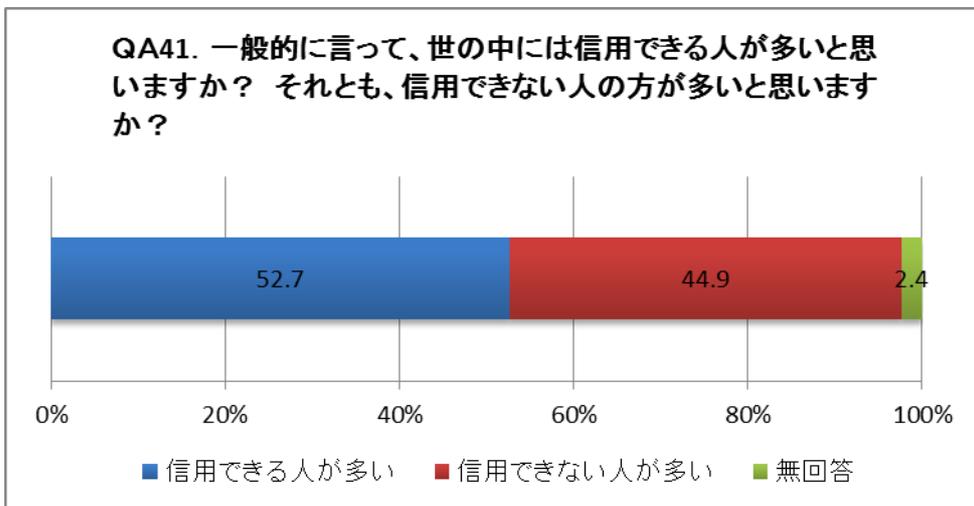
QC40. 生まれてくる赤ちゃんに重い障害がある可能性が高いという理由で、妊娠した女性が中絶をしてもよいと思いますか？



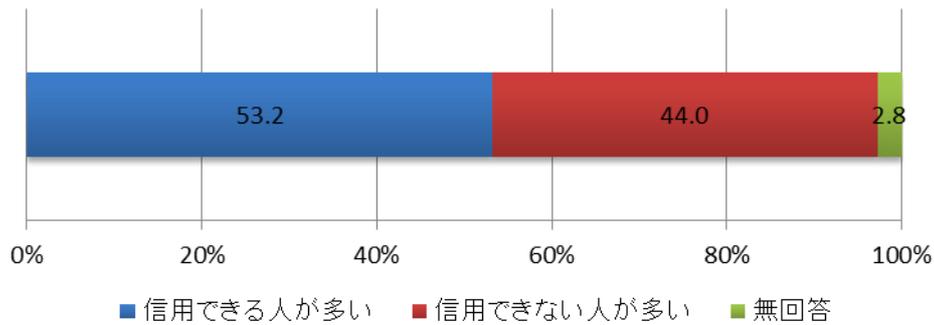
QD40. 結婚している女性が、「これ以上子どもが欲しくない」という理由で、妊娠した女性が中絶をしてもよいと思いますか？



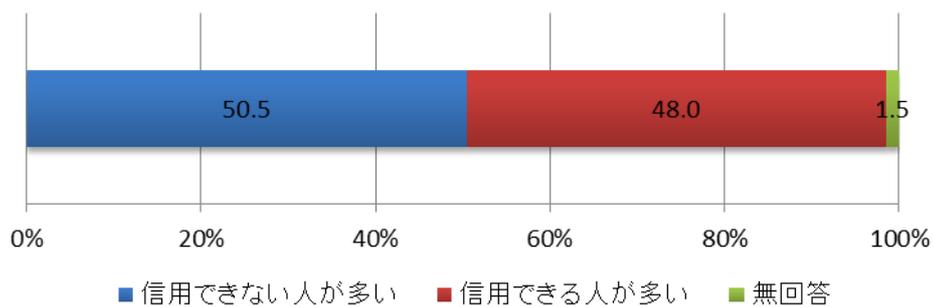
(41) 人の信用



QC41. 一般的に言って、世の中には信用できる人が多いと思いますか？ それとも、信用できない人が多いと思いますか？

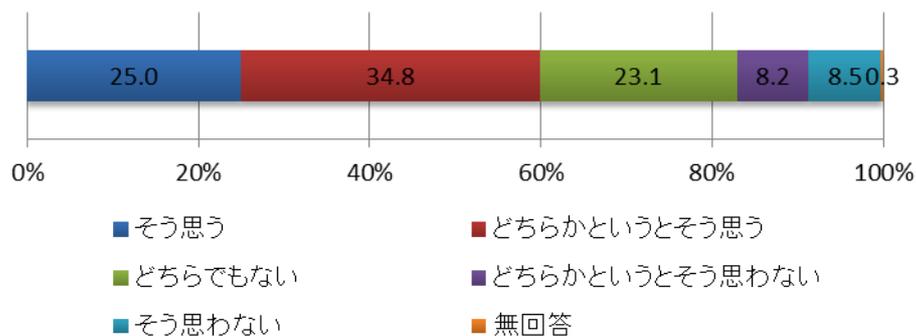


QD41. 一般的に言って、世の中には信用できない人の方が多いと思いますか？ それとも、信用できる人の方が多いと思いますか？

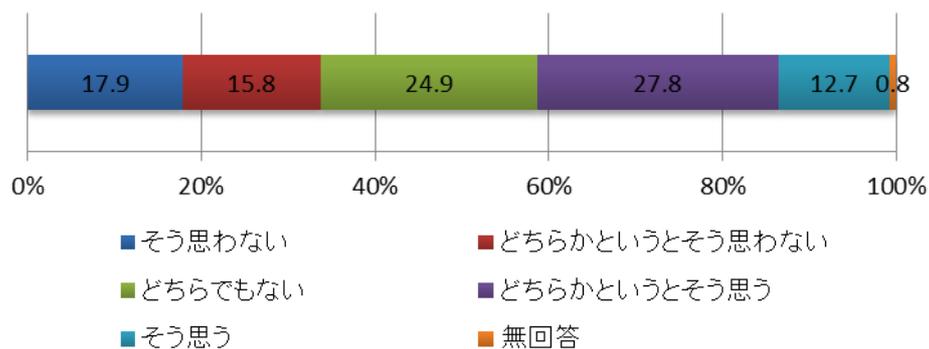


(42) 世の中の不平等

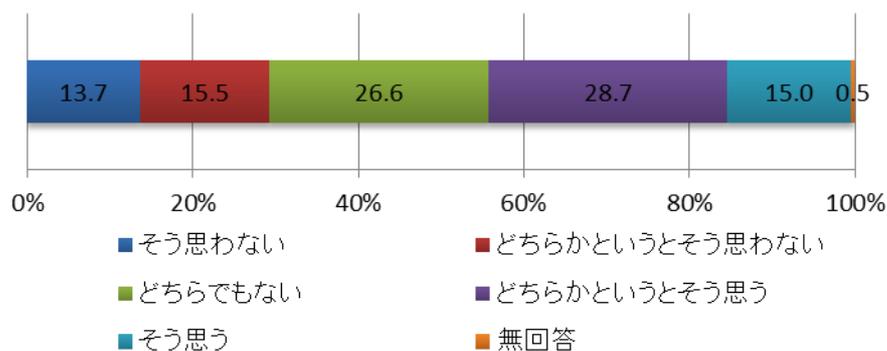
QA42. お金や権力がある人に利益があるから、世の中から不平等はなくなるという考え方について、どう思いますか？



QB42. お金や権力がある人に利益があるから、世の中から不平等はなくなるという考え方について、どう思いますか？



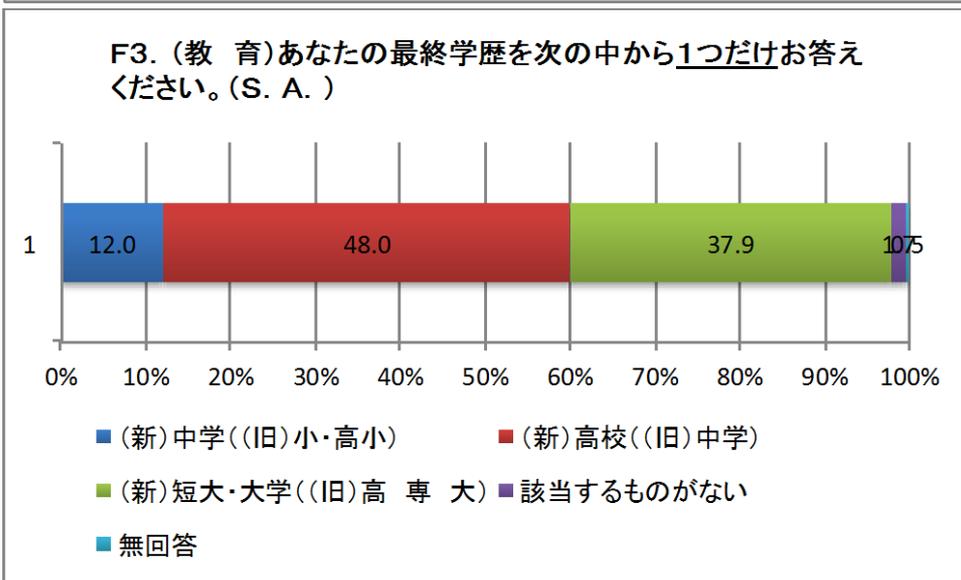
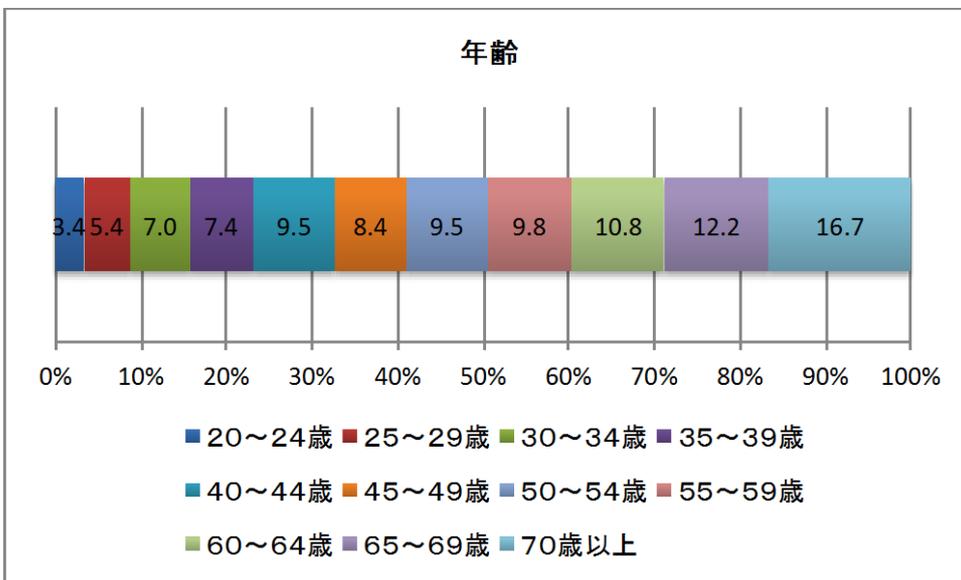
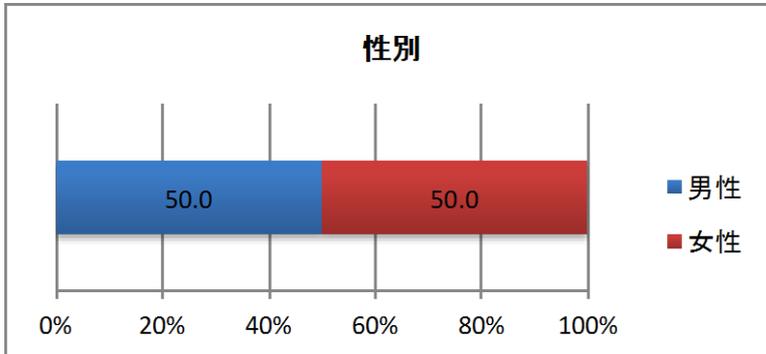
QD42. お金や権力がある人に利益があるから、世の中から不平等はなくなるという考え方について、どう思いますか？



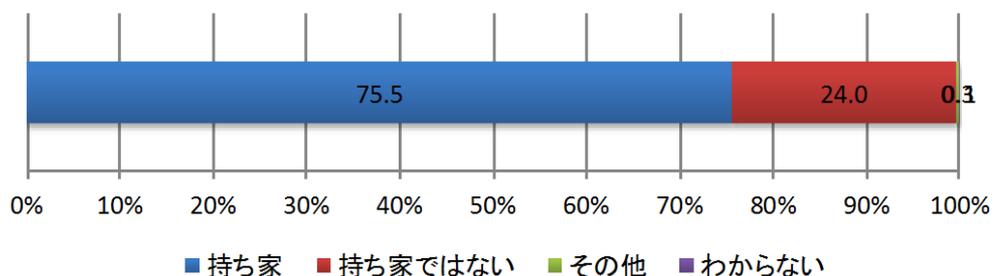
4. 回答された方々の属性

4. 回答された方々の属性

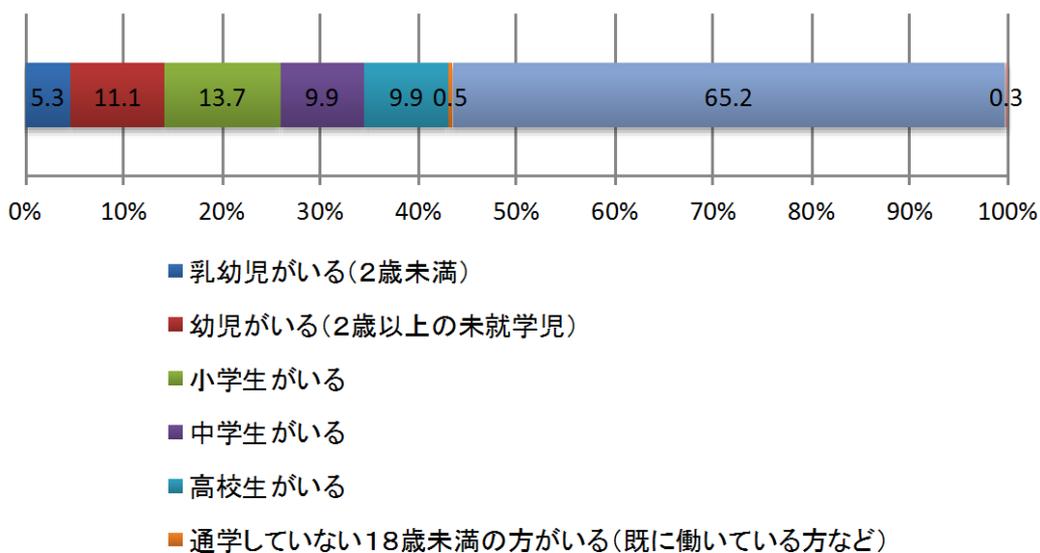
(1) 基本属性



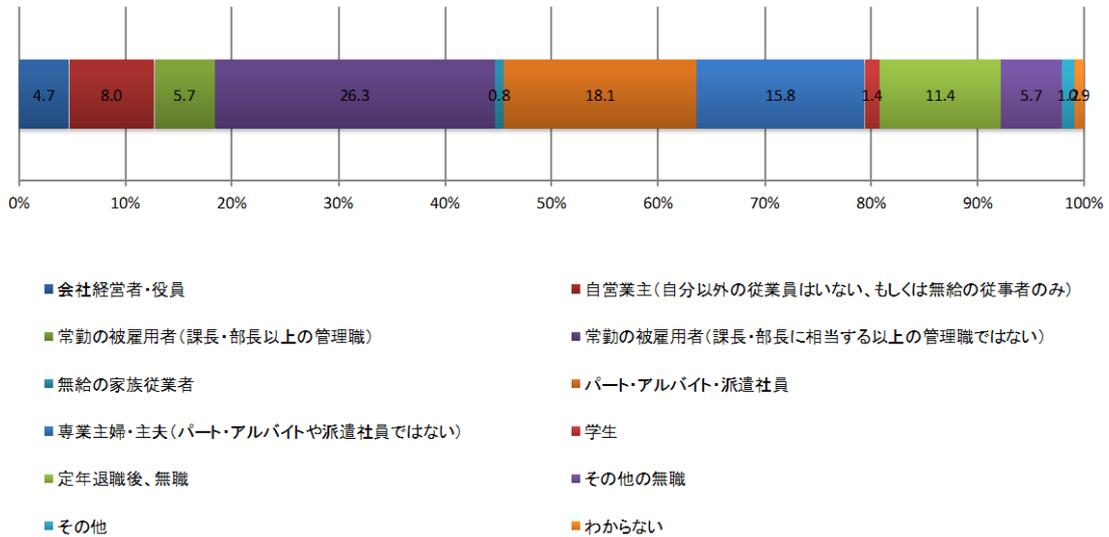
F4. ご自宅は、持ち家ですか。次の中から1つだけお答えください。
(S. A.)



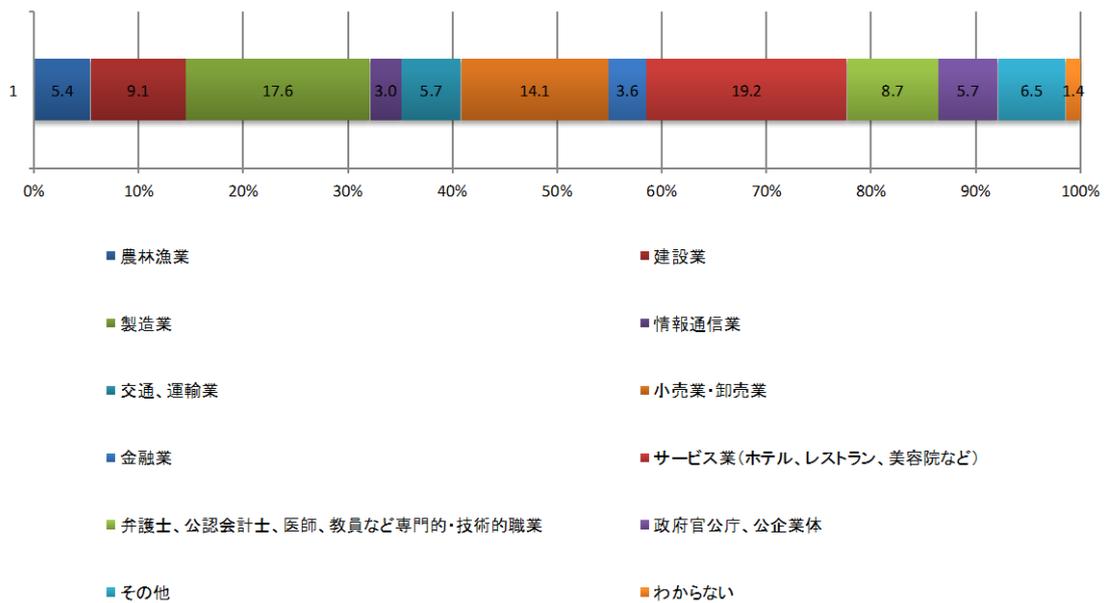
F5. ご家族に、18歳未満の方はいますか。当てはまる方の数だけお答え下さい。(M. A.)



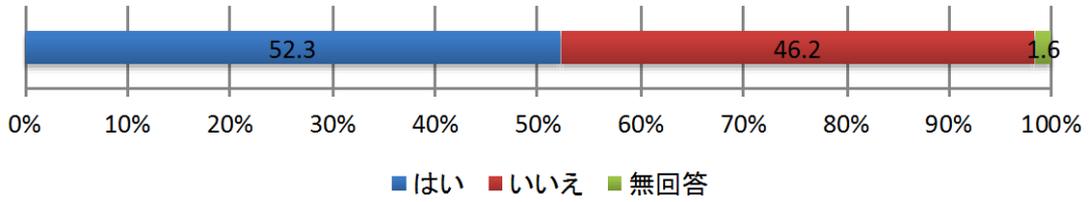
F6. 次にお仕事について、伺います。あなたのお仕事はどれにあたりますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



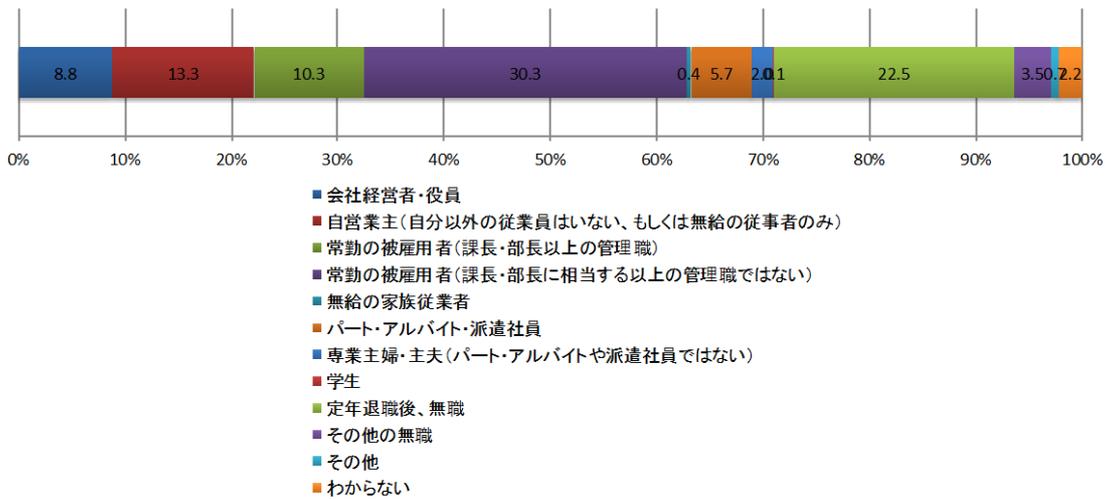
F7. 前の設問で「1」から「6」とお答えになった方に伺います。業種はこの中のどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



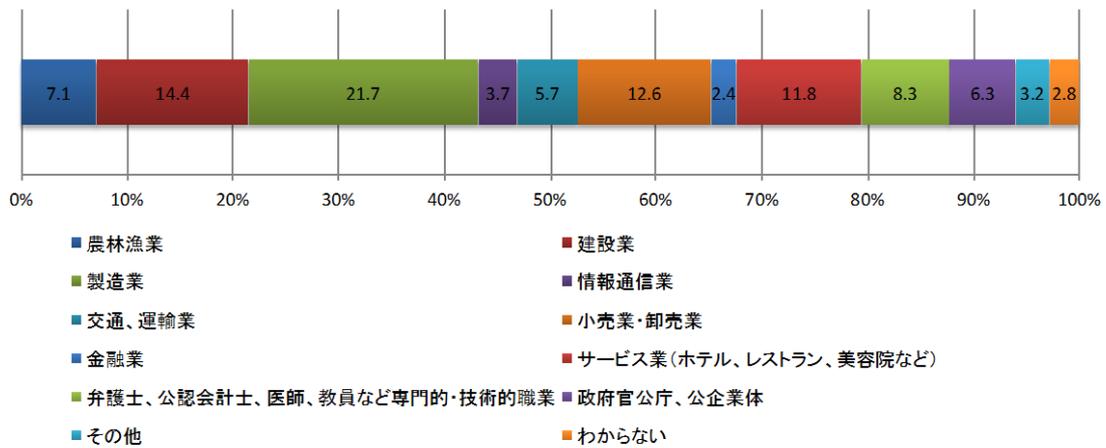
F8. あなたは、実質上の世帯主ですか。どちらか1つだけ選んでください。
(S. A.)



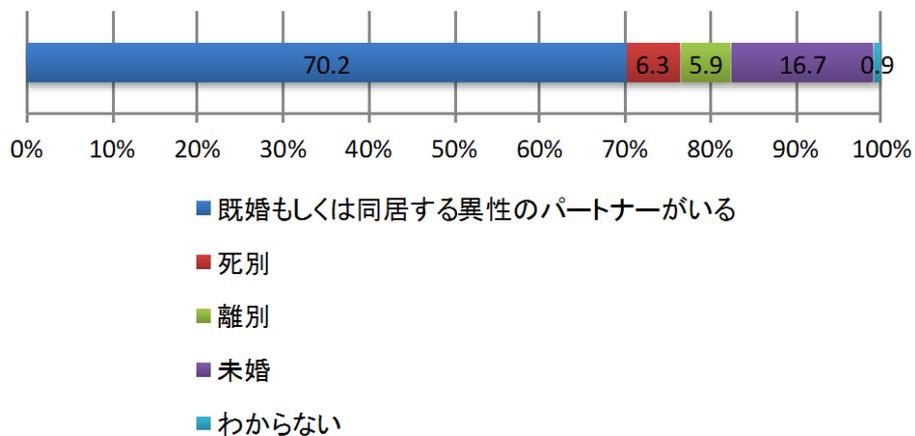
F9. 前の設問で「いいえ」とお答えになった方に伺います。世帯主の方の職業はどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



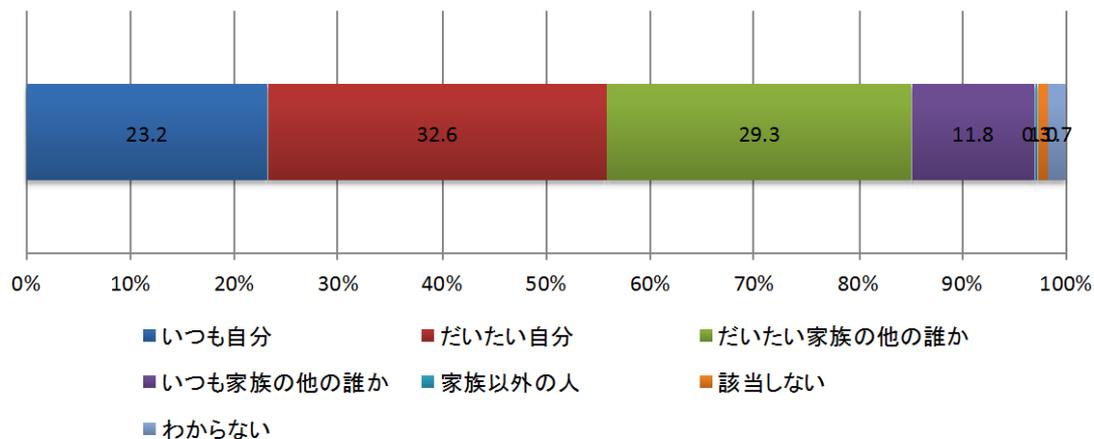
F10. F9で1~6とお答えになった方に伺います。業種はこの中のどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



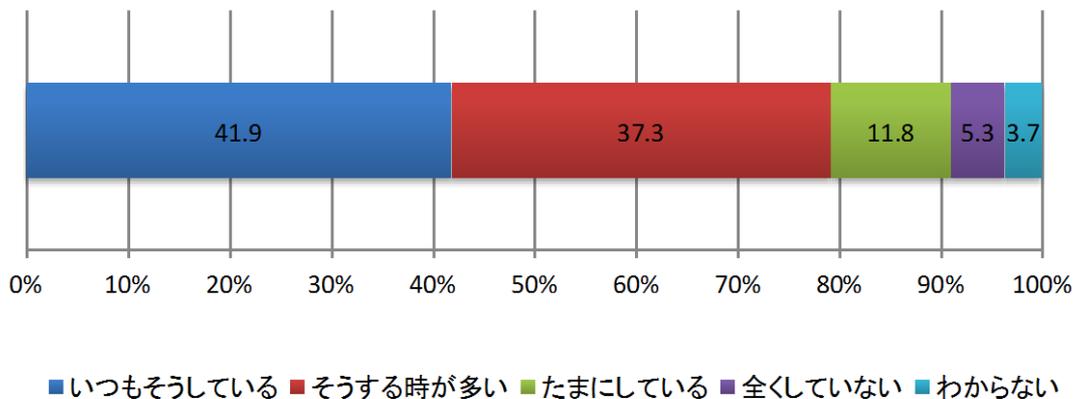
F11. あなたは、結婚をしていますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



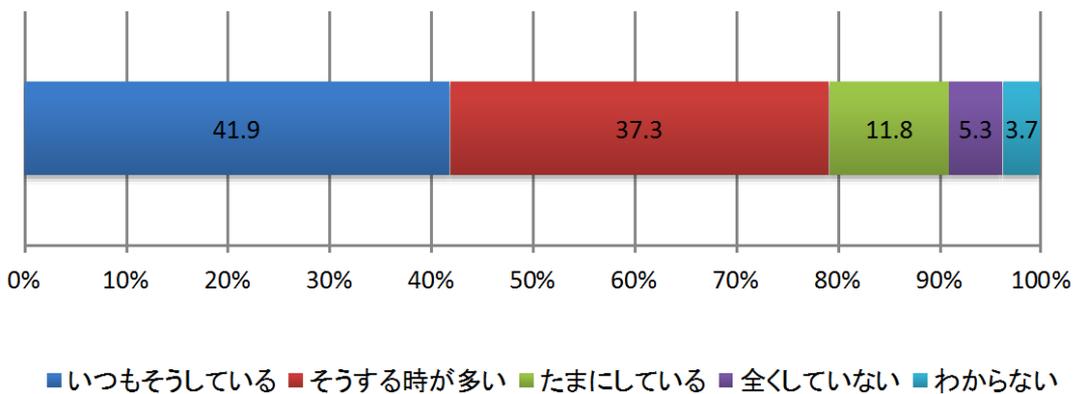
F12. 大型の家電、大型の家具などの購入について、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



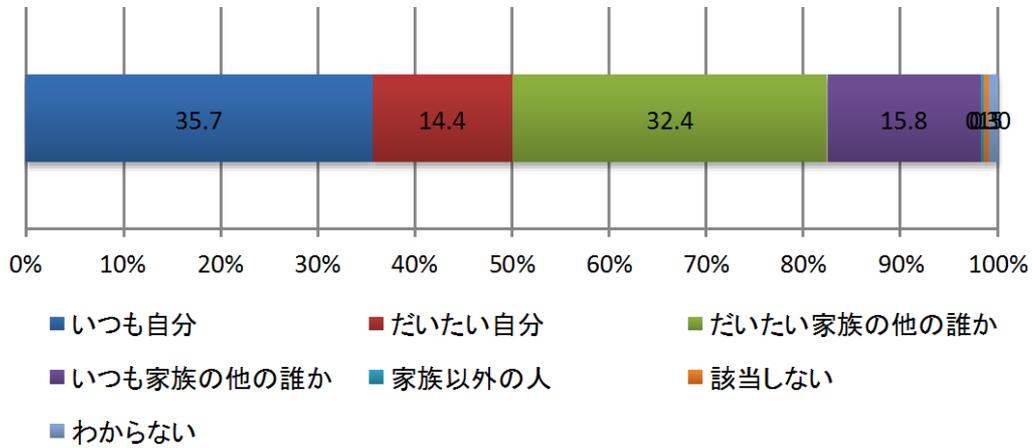
F12-1 東日本大震災後、家電製品などを購入する際に、省エネ性能を考慮しますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



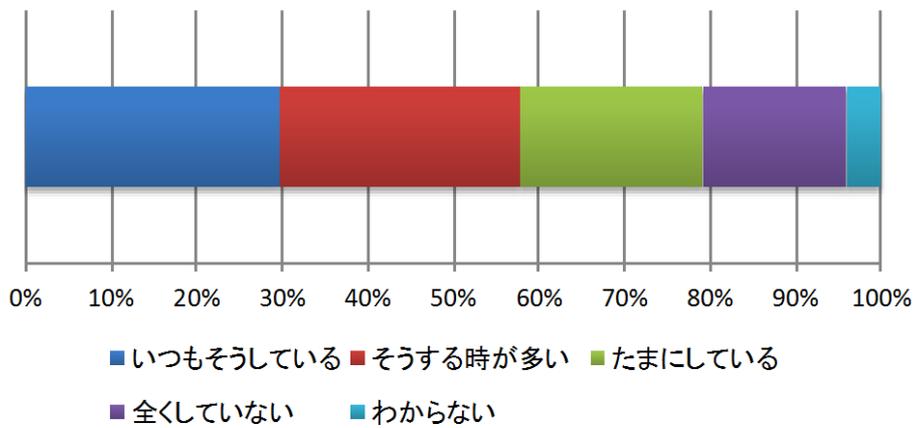
F12-1 東日本大震災後、家電製品などを購入する際に、省エネ性能を考慮しますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



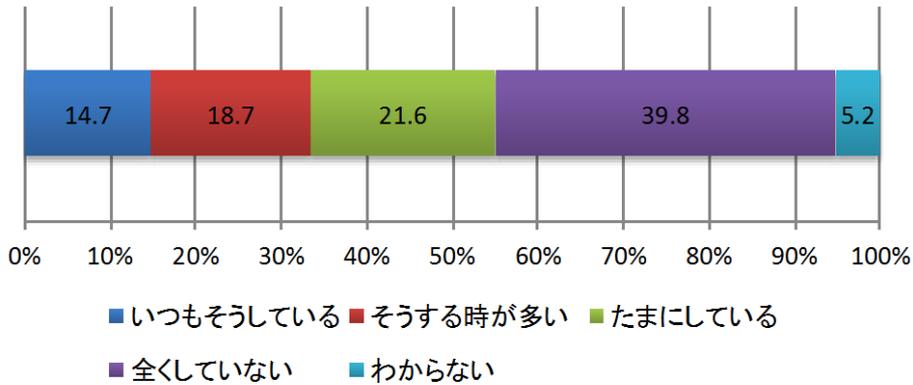
F13. 食料や日用品の買い物について、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



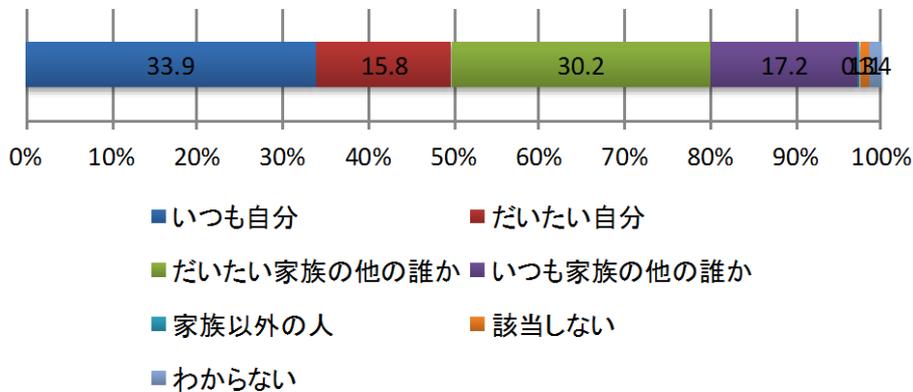
F13-1. 東日本大震災後、食料を購入する際に、産地を確認しますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



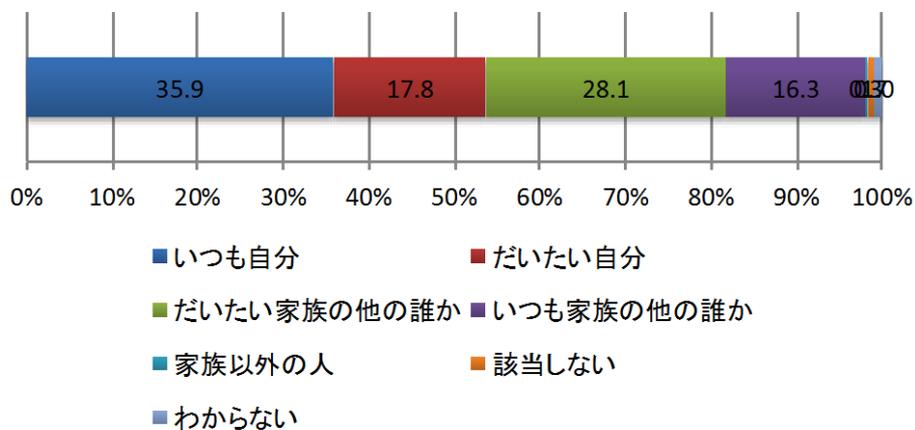
F13-2. 東日本大震災後、農産物や水産物を購入する際に、放射能汚染がありそうな産地を避けますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



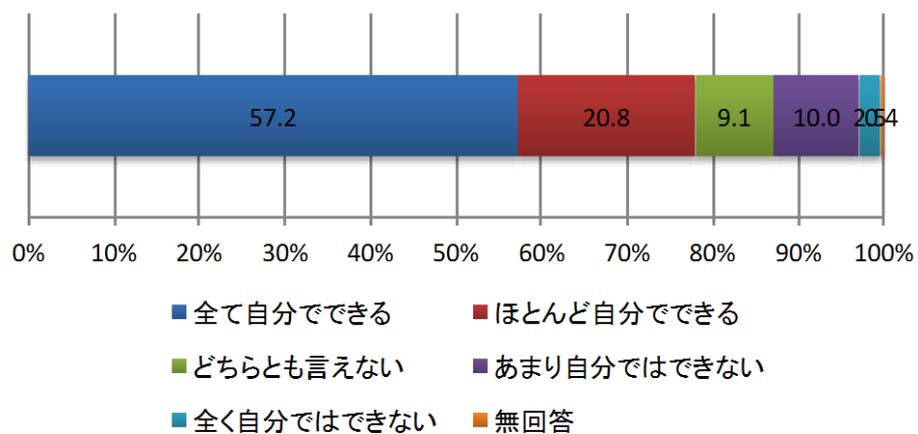
F14. 食事の準備もしくは片付けについて、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



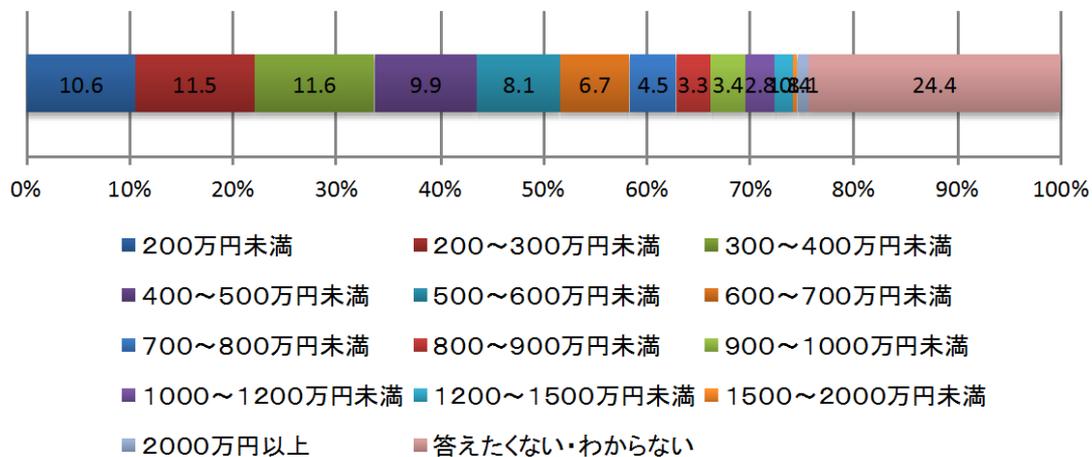
F15. ゴミ出しについて、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



F16. あなたは掃除・洗濯・炊事などの家事を自分でできますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



F17. 直近1年間の、お宅(ご家族の収入の合計)の収入は、税込みで大体いくらでしたか。臨時収入、副収入、ご家族全員の収入の合計に近いものを、次の中から1つだけお答えください。(S. A.)



(以上)

5. 調査票

ライフスタイルに関する世論調査



<まず、環境問題全般について伺います>

Q1. あなたは、わが国全体を考えたとき、現在最も深刻な環境問題は何だと思えますか。最も深刻だと思うことを1つだけお答えください。(F. A.)

[カードQ2提示]

Q2. 私たちを取り巻くさまざまな自然環境や環境問題の状況は、ここ数年間でどう変わってきていると思えますか。この中から1つだけお答えください。(S. A.)

<最近の暮らしについて伺います>

[カードQ3提示]

Q3. あなたのご家庭の最近1か月間の電気使用量は、東日本大震災の年の夏と比較して、増減はありましたか。この中で最も近いものを1つだけお答えください。(S. A.)

1. 減った(電力消費量で10%以上)
 2. やや減った(電力消費量で5~10%以下程度)
 3. ほとんど・全く変わらない(電力消費量でだいたい同じか5%以下程度)
 4. やや増えた(電力消費量で5~10%以下程度)
 5. 増えた(電力消費量で10%以上)
 6. わからない

<環境と経済成長について伺います>

[カードQ4提示]

Q4. 環境と経済成長の関係について、次の2つの考え方があります。あなた個人のお考えはどちらに近いですか。最も近いものを**1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. 経済成長が遅くなり、失業が起きても環境を守るべきだ
2. 環境がある程度悪化しても、経済成長を優先し雇用を確保すべきだ
3. わからない

<日頃どの程度いろいろな情報に接していらっしゃるかについて伺います>

[カードQ5提示]

Q5. あなたが、インターネットをお使いの際利用している機器は何ですか。ご自宅・職場にかかわらず、この中から**いくつでも**選んでお答えください。(M. A.)

1. パソコン、タブレット端末など
2. スマートフォン、PDA (携帯情報端末) など
3. 携帯電話 (スマートフォンを除く)
4. テレビ (録画機やケーブルテレビのチューナーなども含む)
5. ゲーム機
6. その他 ()
7. インターネットを使っていない
8. わからない

[カードQ6提示]

Q6. あなたは、社会の出来事一般についてどこから情報を得ていますか。主なものを**3つまで**選んでください。(3 L. A.)

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1. 新聞
(印刷されたもののみ。電子版の場合は「10」へ) | 9. ツイッター、フェイスブックやミクシィなどのSNS |
| 2. 雑誌 | 10. 電子版の新聞、ニュースサイト、上記「9」以外のメールマガジンなど |
| 3. ラジオ | 11. フリーペーパー、フリーマガジン |
| 4. テレビ | 12. セミナーや講習会など |
| 5. 友人や家族 | 13. その他
() |
| 6. 国や自治体が配布しているパンフレットなど | 14. 特に情報を得ていない |
| 7. 環境団体が配布しているパンフレットなど | 15. わからない |
| 8. 環境団体以外の様々な団体 (NGOやNPOなど) が配布しているパンフレットなど | |

[カードQ7提示]

Q7. 新聞のどんな分野の記事を読みますか。主なものを3つまであげてください。
 (3L. A.) (註: 環境問題に限定しない)

1. 国内政治	10. テレビ欄
2. 国際政治	11. 社説や評論
3. 経済・商況・株式面	12. 投書や相談の欄
4. 文化芸術面	13. 天気予報
5. 医療や健康面	14. その他 ()
6. 家庭面・生活面	15. 一通りまんべんなく読む (他の選択肢を選択した場合でも選択可)
7. 地域のニュース (県内版や地域版)	16. 新聞は読まない
8. スポーツ	
9. 社会面	

[カードQ8提示]

Q8. あなたは普段、どのようなテレビ番組を見ていますか。主なものを3つまであげてください。
 (3L. A.) (註: 環境問題に限定しない)

1. ドラマ	8. ニュース・情報番組
2. バラエティー番組 (情報系番組やお笑いなど)	9. 科学ドキュメント番組
3. クイズ・ゲーム番組	10. 教養番組
4. 音楽、歌謡関係の番組	11. その他 ()
5. 時事もののドキュメント番組・報道関係の特集番組 (特番)	12. 一つの局をつけっぱなしなので、そのときに放映しているものを見ている (他の選択肢を選択した場合でも選択可)
6. スポーツ中継やスポーツ番組	13. 普段あまり (全く) テレビは見ない
7. 映画など	

[カードQ11 提示]

Q11. 環境を守るための活動について伺います。これから読みあげる行動は、実際に「行なったことがある」「行なったことはないが、今後は行ないたい」「今後は行ないたいとは思わない」の中では、どれにあてはまりますか。それぞれ次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

	行なったことがある	行なったことはないが、今後は行ないたい	今後は行ないたいとは思わない	わからない
(a) 環境保護を目的としたグループや団体に寄付をすること	1	2	3	4
(b) 自然災害時の救援を目的としたグループや団体に寄付をすること	1	2	3	4
(c) 環境保護団体のメンバーになったり、ボランティア活動などに参加すること	1	2	3	4
(d) 自然災害時の救援を目的としたグループや団体のメンバーになったり、ボランティア活動などに参加すること	1	2	3	4

<ここからはエネルギー問題について伺います>

[カードQ12 提示]

Q12. 20年後から30年後の日本を考えた場合、安定した電力の供給を確実にこなうものとして、次の発電方法・燃料は、それぞれどの程度適していると思いますか。それぞれ次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

	とても適している	やや適している	どちらともいえない	あまり適していない	全く適していない	わからない
(a) 水力	1	2	3	4	5	6
(b) 石炭	1	2	3	4	5	6
(c) 石油	1	2	3	4	5	6
(d) 天然ガス	1	2	3	4	5	6
(e) 原子力	1	2	3	4	5	6
(f) 太陽・太陽光	1	2	3	4	5	6
(g) 風力	1	2	3	4	5	6
(h) 樹木、穀物、人畜の排泄物などによるバイオマス	1	2	3	4	5	6
(i) 地熱	1	2	3	4	5	6
(j) 海洋（波力や海流を使うもの）	1	2	3	4	5	6

[カードQ13 提示]

Q13. 次に原子力発電について伺います。日本国内の電力需要の今後の見通しを考えたときに、国内に今ある原子力発電所の再稼働を進めていくべきだと思いますか、それとも再稼働はすべきではないと思いますか。次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. 再稼働を進めていくべきだと思う
2. どちらかといえば再稼働を進めていくべきだと思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば再稼働すべきではないと思う
5. 再稼働すべきではないと思う
6. 特に意見はない
7. わからない

[カードQ14 提示]

Q14. あなたは、原子力発電の事故による被害について、どのくらい不安ですか。次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

1. とても不安である	3. それほど不安ではない	5. 特に意見はない
2. 不安である	4. 全く不安ではない	

[カードQ15 提示]

Q15. あなたがこれまでに、日本の原子力発電について知っていることや聞いたことを総合的に判断して、以下の文章のどれがあなたの考えに最も近いでしょうか。次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

1. 原子力発電がもたらす便益は、そのリスクを大きく上回る
2. 原子力発電がもたらす便益は、そのリスクを若干上回る
3. 原子力発電がもたらす便益とそのリスクはほぼ同じくらいである
4. 原子力発電がもたらすリスクは、その便益を若干上回る
5. 原子力発電がもたらすリスクは、その便益を大きく上回る
6. どれも無い
7. わからない

[カードQ16 提示]

Q16. ここにあげるそれぞれの意見について、あなたはどのように思いますか。(a) から (1) の意見についてお答えください。それぞれ次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

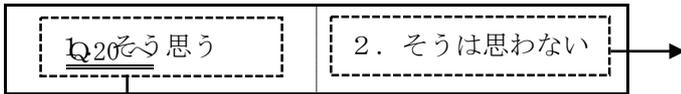
	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	特に意見はない	わからない
(a) もし、地球温暖化・気候変動を防げるのなら、新しい原子力発電所の建設をしても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(b) 信頼できるエネルギー供給に役立つのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(c) 他の全てのエネルギーの選択肢を吟味せずに、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う	1	2	3	4	5	6	7
(d) 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う	1	2	3	4	5	6	7

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	特に意見はない	わからない
(e) 地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(f) もし、今より安全な原子力発電所が建設できるのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(g) 日本政府は、原子力発電所について、適切な管理や規制をしていると思う	1	2	3	4	5	6	7
(h) 現在の日本の原子力発電に関する法律や規制は原子力発電所を管理するために十分、効力を持つものだと思う	1	2	3	4	5	6	7
(i) 原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う	1	2	3	4	5	6	7
(j) 火力発電所から発生する二酸化炭素が大気に放出される前に集めて地中に埋めてためておく技術を使うことで、二酸化炭素がこれ以上大気中に増えないようにする方が、原子力発電所からの電力を使うよりも良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(k) 我が国は、確実な電力供給を担保するために、原子力発電や再生可能エネルギーを含む多様なエネルギー源が必要だと思う	1	2	3	4	5	6	7
(l) 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、自然保護や景観保護の観点からみると好ましくないやり方だと思う	1	2	3	4	5	6	7

<ここからは地球環境問題について伺います>

[カードQ17 提示]

Q17. あなたご自身の考えとして、最近、気候が変わってきていると思いますか。次のどちらかから 1つだけお答えください。(S. A.)



【Q17で「1. そう思う」と答えた方に】

【カードQ18 提示】

Q18. 気候が変わってきている原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いのは以下のどれでしょうか。次の中から 1つだけ お答えください。(S. A.)

1. 全て自然現象によるものだ
2. おおかたは自然現象に原因がある
3. 一部は自然現象、また一部は人間の活動に原因がある
4. おおかたは人間の活動に原因がある
5. 全て人間の活動に原因がある
6. 特に意見はない
7. わからない

【Q17で「1. そう思う」と答えた方に】

【カードQ19 提示】

Q19. 地球上の気候が変わってきている原因は何だと思えますか。次の中から 5つまで お答えください。(5 L. A.)

1. 大気汚染全般
2. 発電する量や電気使用量が増大していること
3. 森林火災などで木が燃えること
4. 石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料の燃焼による二酸化炭素の発生
5. 自動車、飛行機などの交通量が増えていること
6. 森林や熱帯林の伐採
7. 工場などで発生するガスなどが大気に放出されること
8. オゾン層の破壊
9. 人間の活動全般の水準が上がってきていること
10. 自然現象
11. 核・原子力エネルギーを使うこと
12. 海洋・海洋大循環
13. 石油、石炭、天然ガスが大気中に放出されること
14. 太陽からの放射熱
15. 火山の噴火、火山活動
16. その他 ()
17. わからない

【全員の方に】

【カードQ20 提示】

Q20. あなたは、一般的に言われている「地球温暖化・気候変動が環境に与える影響の深刻さ」について、大げさだと思いますか。次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. そう思う	4. あまりそう思わない	6. 特に意見はない
2. まあそう思う	5. そう思わない	7. わからない
3. どちらともいえない		

【カードQ21 提示】

Q21. それでは、このままによる影響として深刻なことは何だと思えますか。次の中から**3つまで**お答えください。(3 L. A.)

1. ヒートアイランド現象が起きやすくなる
2. 生物多様性の減少、種の減少
3. 今までより極端な気候が起きる (猛暑など)
4. 熱帯地方の病気が日本でも発生するようになる
5. 海面上昇
6. 洪水や水不足、干ばつが今よりも多く発生するようになる
7. オゾン層の破壊
8. 農作物の収穫が不安定になるなど農業生産への影響
9. シベリアなどの凍土層の溶解、アルプスやヒマラヤの氷河が溶けだす
10. 現在よりも強力な台風や竜巻などが起きやすくなる
11. 熱射病など健康への影響が起きやすくなる
12. 雨の降り方が熱帯地方の降り方に近くなる
13. 季節の変化がなくなる
14. このような変化は一時的なもので、長期的に見た場合、特別に深刻な影響はない
15. その他 ()
16. わからない

【カードQ22 提示】

Q22. 地球温暖化・気候変動をはじめとする環境問題や原発、放射線の問題などは、一般的に見て、子供世代や孫世代などの将来世代の生活や健康にどのくらい影響を与えようと思えますか。次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. 大きな影響がある	3. あまり影響はない	5. わからない
2. やや影響がある	4. 影響はない	

[カードQ23 提示]

Q23. 次の (a) と (b) の文の内容は、正しいと思いますか。次の中から **1つだけ**お答えください。(S. A.)

	正しい	間違っている	わからない
(a) 放射性物質は放射線を出して別の物質に変わっていくので、自然界に永遠に残るものではない	1	2	3
(b) 普通に生活していても、地域によって若干の差はあるが、世界の平均で年間 2.4 ミリシーベルトの放射線を自然界から受けている	1	2	3

[カードQ24 提示]

Q24. 原子力発電所の使用済み核燃料から発生する放射能レベルの高い廃棄物の処分方法について、あなたはどの程度ご存じですか。次の中から **1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. よく知っている
2. ある程度内容は知っている
3. 言葉を見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない
4. 知らない

[カードQ25 提示]

Q25. 原子力発電所の使用済み核燃料から発生する放射能レベルの高い廃棄物の処分方法について、あなたはどの程度関心がありますか。次の中から **1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. 関心がある
2. どちらかというに関心がある
3. どちらとも言えない
4. どちらかというに関心はない
5. 関心はない

<ここからは、一般的な社会の状態、考え方について伺います>

[カードQ26 提示]

Q26. ここにあげる (a) から (c) の考えについて、あなたはどのように思いますか。それぞれ、次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう思わない	わからない
(a) 自分一人では環境問題の解決に大したことはできない	1	2	3	4	5	6
(b) 現代の技術は、環境問題をうまく解決してくれると思う	1	2	3	4	5	6
(c) 人が生きていく上では、人と人とのつながりがお金や肩書きより大事だと思う	1	2	3	4	5	6

[カードQ27 提示]

Q27. 国が心がけることについて、もっとも重要だと思うのはどれですか。また、2番目に重要だと思うのはどれですか。それぞれ次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

	もっとも重要 と思うもの	2番目に重要 と思うもの
1. 国の秩序を維持すること	1	1
2. 政府の決定に対して、国民にもっと発言できるようにすること	2	2
3. 物価の上昇をおさえること	3	3
4. 言論の自由を守ること	4	4
5. わからない	5	5

[カードQ28 提示]

Q28. 世の中のたいていの人は、他人の役に立とうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。次の中から**1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. 他人の役に立とうとしている	3. その他 ()
2. 自分のことだけ考えている	4. わからない

[カードQ A29 提示]

Q A29. 日本の社会における質問です。次の質問について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

「現在から 25 年後でも石油が十分に残っている」という人もいれば、「今のような使い方をしていけば、15 年後には石油はなくなってしまう」という人もいます。

どちらがあなたの意見に近いですか？

1. 25 年後でも石油が十分に残っている
2. 15 年後には石油はなくなってしまう

[カードQ A30 提示]

Q A30. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう思いませんか？

「それぞれの石油会社が価格競争をして、石油の価格を決めるべきだ」

1. そう思う
2. そう思わない

[カードQ A31 提示]

Q A31. 全ての人々に最低限の住居が提供されるよう政府が配慮するべきだ、という人もいれば、それぞれが自分自身で住居を用意するべきだ、と言う人もいます。

どちらが、あなたの意見に近いですか？

1. 全ての人々に最低限の住居が提供されるよう政府が配慮するべきである
2. それぞれが自分自身で住居を用意するべきである

[カードQ A32 提示]

Q A32. あなたは、日本で起きている犯罪や違法行為について、個人と社会状況のどちらに、より責任があると思いますか？

1. 個人に、より責任がある
2. 社会状況に、より責任がある

[カードQ A33 提示]

Q A33. あなたは、全ての人が職を持ち、一定の生活水準で暮らせるように、政府が配慮すべきだと思いますか？ 配慮すべきではないと思いますか？

1. 政府が配慮すべきである
2. 政府が配慮すべきではない

[カードQ A34 提示]

Q A34. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう思いませんか？

「感情の面で多くの男性は女性よりも政治に向いている」

1. そう思う
2. そう思わない

[カードQ A35 提示]

Q A35. あなたは次の意見について、そう思いますか？ そう思いませんか？

「政策や政府について、何が起きているのか、私にはよく分からないほど複雑に思えることがある」

1. そう思う
2. そう思わない

[カードQ A36 提示]

Q A36. あなたが知っている範囲でお答え下さい。ここ3年間、世界の平均気温はそれ以前と比べて高くなっていると思いますか？ 低くなっていると思いますか？ 同じくらいだと思いますか？

1. 高くなっていると思う
2. 低くなっていると思う
3. 同じくらいだと思う

[カードQ A37 提示]

Q A37. あなたは、政府を動かすほとんど全ての人は賢明で先が見えていると思いますか？ 自分が何をしているのか分かっていないと思いますか？ それとも、特に意見はありませんか？

1. 賢明で先が見えていると思う
2. 自分が何をしているか分かっていないと思う
3. 意見はない

[カードQ A38 提示]

Q A38. この冬、深刻な燃料不足が発生してしまったら、家庭の暖房の温度を下げるようにする法律を作るべきだと思いますか？ それとも、そのような法律には反対ですか？

1. 法律を作るべきだ
2. そのような法律には反対

[カードQ A39 提示]

Q A39. 結婚している女性が、「これ以上子どもが欲しくない」という理由で、妊娠した女性が中絶をしてもよいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

[カードQ A40 提示]

Q A40. 生まれてくる赤ちゃんに重い障害がある可能性が高いという理由で、妊娠した女性が中絶をしてもよいと思いますか？

1. はい
2. いいえ

[カードQ A41 提示]

Q A41. 一般的に言って、世の中には信用できる人が多いと思いますか？ それとも、信用できない人が多いと思いますか？

1. 信用できる人が多い
2. 信用できない人が多い

[カードQ A42 提示]

Q A42. お金や権力がある人に利益があるから、世の中から不平等はなくなるという考え方について、どう思いますか？

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらでもない
4. どちらかというと思わない
5. そう思わない

フェースシート

<では、最後に今後の分析のために、ご回答されている方ご自身について伺います>

F 1. (性)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

[カード F 2 提示]

F 2. (年 齢) あなたの年齢を次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

1. 20～24歳	4. 35～39歳	7. 50～54歳	10. 65～69歳
2. 25～29歳	5. 40～44歳	8. 55～59歳	11. 70歳以上
3. 30～34歳	6. 45～49歳	9. 60～64歳	

[カード F 3 提示]

F 3. (教 育) あなたの最終学歴を次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

1. (新) 中学 ((旧) 小・高小)
2. (新) 高校 ((旧) 中学)
3. (新) 短大・大学 ((旧) 高 専 大)
4. 該当するものがない ()

[カード F 4 提示]

F 4. ご自宅は、持ち家ですか。次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

1. 持ち家	3. その他 ()
2. 持ち家ではない	4. わからない

[カード F 5 提示]

F 5. ご家族に、18歳未満の方はいますか。 **当てはまる方の数** だけお答え下さい。(M. A.)

1. 乳幼児がいる (2歳未満)	4. 中学生がいる
2. 幼児がいる (2歳以上の未就学児)	5. 高校生がいる
3. 小学生がいる	6. 通学していない18歳未満の方がいる (既に働いている方など)
	7. いずれもない

[カードF6提示]

F6. 次にお仕事について、伺います。あなたのお仕事はどれにあたりますか。次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社経営者・役員 2. 自営業主（自分以外の従業員はいない、もしくは無給の従事者のみ） 3. 常勤の被雇用者（課長・部長以上の管理職） 4. 常勤の被雇用者（課長・部長に相当する以上の管理職ではない） 5. 無給の家族従業者 6. パート・アルバイト・派遣社員 	<u>F 7 へ</u>
<ol style="list-style-type: none"> 7. 専業主婦・主夫（パート・アルバイトや派遣社員ではない） 8. 学生 9. 定年退職後、無職 10. その他の無職 11. その他（具体的に) 12. わからない 	<u>F 8 へ</u>

[カードF7提示]

F7. 前の設問で「1」から「6」とお答えになった方に伺います。業種はこの中のどれにあてはまりますか。次の中から **1つだけ** お答えください。(S. A.)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 農林漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 情報通信業 5. 交通、運輸業 6. 小売業・卸売業 7. 金融業 8. サービス業（ホテル、レストラン、美容院など） 9. 弁護士、公認会計士、医師、教員など専門的・技術的職業 10. 政府官公庁、公企業体 11. その他（具体的に) 12. わからない

[カードF8提示]

F8. あなたは、実質上の世帯主ですか。どちらか1つだけ選んでください。(S. A.)

1. はい	→	<u>F11</u> へ	2. いいえ
-------	---	--------------	--------



【F8で「2. いいえ」と回答された方に】

[カードF9提示]

F9. 前の設問で「いいえ」とお答えになった方に伺います。世帯主の方の職業はどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

1. 会社経営者・役員	<u>F10</u> へ
2. 自営業主（自分以外の従業員はいない、もしくは無給の従事者のみ）	
3. 常勤の被雇用者（課長・部長以上の管理職）	
4. 常勤の被雇用者（課長・部長に相当する以上の管理職ではない）	
5. 無給の家族従業者	
6. パート・アルバイト・派遣社員	
7. 専業主婦・主夫（パート・アルバイトや派遣社員ではない）	<u>F11</u> へ
8. 学生	
9. 定年退職後、無職	
10. その他の無職	
11. その他（具体的に)	
12. わからない	



【F12で「1いつも自分」～「4いつも家族の他の誰か」と回答された方に】

[カードF12-1 提示]

F12-1 東日本大震災後、家電製品などを購入する際に、省エネ性能を考慮しますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

1. いつもそうしている
2. そうする時が多い
3. たまにしている
4. 全くしていない
5. わからない

[カードF13 提示]

F13. 食料や日用品の買い物について、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. いつも自分 | → <u>F13-1、F13-2</u> へ |
| 2. だいたい自分 | |
| 3. だいたい家族の他の誰か | |
| 4. いつも家族の他の誰か | |
| 5. 家族以外の人 | → <u>F14</u> へ |
| 6. 該当しない | |
| 7. わからない | |

【F13で「1. いつも自分」～「4. いつも家族の他の誰か」と回答された方に】

[カードF13-1 提示]

F13-1. 東日本大震災後、食料を購入する際に、産地を確認しますか。次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

1. いつもそうしている
2. そうする時が多い
3. たまにしている
4. 全くしていない
5. わからない

[カード F13-2 提示]

F13-2. 東日本大震災後、農産物や水産物を購入する際に、放射能汚染がありそうな産地を避けますか。

次の中から **1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. いつもそうしている
2. そうする時が多い
3. たまにしている
4. 全くしていない
5. わからない

[カード F14 提示]

F14. 食事の準備もしくは片付けについて、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から **1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. いつも自分
2. だいたい自分
3. だいたい家族の他の誰か
4. いつも家族の他の誰か
5. 家族以外の人
6. 該当しない
7. わからない

[カード F15 提示]

F15. ゴミ出しについて、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から **1つだけ**お答えください。(S. A.)

1. いつも自分
2. だいたい自分
3. だいたい家族の他の誰か
4. いつも家族の他の誰か
5. 家族以外の人
6. 該当しない
7. わからない

[カードF16 提示]

F16. あなたは掃除・洗濯・炊事などの家事を自分でできますか。次の中から1つだけお答えください。
(S. A.)

- | |
|----------------|
| 1. 全て自分でできる |
| 2. ほとんど自分でできる |
| 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり自分ではできない |
| 5. 全く自分ではできない |

[カードF17 提示]

F17. 直近1年間の、お宅（ご家族の収入の合計）の収入は、税込みで大体いくらでしたか。臨時収入、副収入、ご家族全員の収入の合計に近いものを、次の中から1つだけお答えください。(S. A.)

1. 200万円未満	6. 600～700万円未満	11. 1200～1500万円未 満
2. 200～300万円未満	7. 700～800万円未満	満
3. 300～400万円未満	8. 800～900万円未満	12. 1500～2000万円未 満
4. 400～500万円未満	9. 900～1000万円未満	満
5. 500～600万円未満	10. 1000～1200万円未 満	13. 2000万円以上
		14. 答えたくない・わからない

質問は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。